

若者の地方体験交流の ご案内（2019年度版）



地域づくり

田舎暮らし

仕事体験

おいしい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL: http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No.1	北海道芦別市	No.32	福島県喜多方市	No.63	長野県天龍村
No.2	北海道深川市	No.33	福島県喜多方市	No.64	長野県天龍村
No.3	北海道石狩市	No.34	福島県南相馬市	No.65	岐阜県御嵩町
No.4	北海道石狩市	No.35	茨城県鉾田市	No.66	静岡県富士市
No.5	北海道上砂川町	No.36	茨城県茨城町	No.67	静岡県伊豆の国市
No.6	北海道遠別町	No.37	栃木県足利市	No.68	三重県津市
No.7	北海道美幌町	No.38	栃木県小山市	No.69	三重県松阪市
No.8	北海道浦河町	No.39	栃木県那須烏山市	No.70	三重県鳥羽市
No.9	北海道浦河町	No.40	埼玉県小鹿野町	No.71	京都府綾部市
No.10	北海道士幌町	No.41	千葉県匝瑳市	No.72	奈良県御所市
No.11	北海道清水町	No.42	新潟県長岡市	No.73	奈良県川上村
No.12	青森県黒石市	No.43	新潟県新発田市	No.74	鳥取県湯梨浜町
No.13	青森県十和田市	No.44	新潟県糸魚川市	No.75	島根県益田市
No.14	青森県十和田市	No.45	新潟県上越市	No.76	島根県益田市
No.15	青森県つがる市	No.46	新潟県上越市	No.77	島根県飯南町
No.16	青森県鶴田町	No.47	新潟県上越市	No.78	岡山県玉野市
No.17	青森県七戸町	No.48	富山県黒部市	No.79	岡山県新見市
No.18	岩手県宮古市	No.49	富山県朝日町	No.80	岡山県美咲町
No.19	岩手県葛巻町	No.50	石川県	No.81	山口県長門市
No.20	岩手県山田町	No.51	石川県志賀町	No.82	徳島県勝浦町
No.21	岩手県岩泉町	No.52	福井県福井市	No.83	愛媛県西予市
No.22	宮城県七ヶ宿町	No.53	福井県福井市	No.84	愛媛県砥部町
No.23	宮城県七ヶ宿町	No.54	福井県大野市	No.85	福岡県広川町
No.24	宮城県七ヶ宿町	No.55	福井県大野市	No.86	長崎県南島原市
No.25	宮城県七ヶ宿町	No.56	福井県大野市	No.87	熊本県宇城市
No.26	宮城県七ヶ宿町	No.57	福井県大野市	No.88	熊本県宇城市
No.27	宮城県七ヶ宿町	No.58	福井県大野市	No.89	大分県佐伯市
No.28	宮城県女川町	No.59	福井県大野市	No.90	大分県宇佐市
No.29	秋田県秋田市	No.60	福井県大野市	No.91	鹿児島県曾於市
No.30	秋田県北秋田市	No.61	福井県大野市	No.92	鹿児島県東串良町
No.31	山形県鶴岡市	No.62	福井県あわら市	No.93	鹿児島県錦江町

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あしべつし
No.- 1 : 北海道芦別市 (人口: 13,635人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| ・ JR 芦別駅 | 札幌駅から約 1 時間 40 分 (JR 滝川駅乗換) |
| ・ 中央バス芦別バス停 | 札幌駅から約 1 時間 50 分 (高速ふらの号) |

(2) 事業実施の目的等

- | |
|-------------------|
| ・ 芦別市の農業を体験してほしい。 |
|-------------------|

(3) 体験の内容

- | |
|--|
| ・ 農業体験 (内容は本人の希望による。希望内容によっては対応できない場合もあります。) |
|--|

(4) 受入主体

芦別市

(5) 受入期間

随時 (冬期間を除く)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	本市での就農を志す 18 歳以上 50 歳未満の方
②応募締切り	なし (随時受付)
③宿泊施設	市施設、民宿等
④食事形態	全て自己負担
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

農業に興味がある方をお待ちしております。是非一度市担当までご相談ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道芦別市	担当部署 経済建設部 農林課 農政係
(ふりがな) さとう ほだか 担当者氏名 佐藤 穂高	TEL: 0124-22-2111 (内線 245) FAX: 0124-22-8048
E-mail: ashi-nou@atlas.plala.or.jp	
URL: http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/norin/nousei/shinkisyunou_gaiyo_2.html	
応募宛先 〒075-8711 北海道芦別市北 1 条東 1 丁目 3 番地 芦別市役所農林課農政係宛	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふかがわし
No.- 2 : 北海道深川市 (人口: 20,803人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北海道 函館本線 深川駅から徒歩 15 分
 ※新千歳空港から JR (札幌経由) で約 100 分、旭川空港からバス・JR で約 50 分
 (乗継ぎ時間を除く)

(2) 事業実施の目的等

農業に興味のある方に、農業体験 (おおむね 5 日間) を通じて、本市の基幹産業でもある農業に魅力を感じてもらい、将来の担い手となる人材の発掘を目的とします。

(3) 体験の内容

農業体験 (概ね 5 日間)
 体験料: 無料 ※作業に対する報酬は支払われません
 研修可能な作物: 水稲・小麦・大豆・そば・にんにく・ミニトマト・きゅうり・グリーンアスパラガス・ピーマン・メロン・花き・果樹等

(4) 受入主体

深川市

(5) 受入期間

概ね 4 月～9 月
 ※時期により体験できない作物があります

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 体験期間中は無料で泊まれる施設を準備しています。 食事代: 自己負担
①要 件	本市の農業に興味があり、農業を仕事にしたい方。
②応募締切り	随時受け付け
③宿泊施設	移住体験住宅「四季の丘おとえ Part II」 ※生活用品は備わっています
④食事形態	各自で手配となります ※宿泊施設で自炊が可能です
⑤そ の 他	宿泊施設の間取りは 2LDK、Wi-Fi 利用可、24 時間営業のコンビニ有り

(7) 地域担当者から一言

北海道のほぼ中央に位置する深川市は、石狩川の流域に広がる肥沃な土壌と恵まれた気象条件から、農業が盛んなまちです。「新規就農を目指したい」「農家で働きたい」「農業を学びたい」等、農業に興味はあっても、何から始めればよいのか解らないですよね。そこで、まずは農業体験から始めてみませんか。農業が初めてのみなさんも、気軽にご参加ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道深川市	担当部署 移住定住サポートセンター (地域振興課内)
(ふりがな) なかにし こうじ 担当者氏名 仲西 康至	TEL: 0164-26-2627 (直通) FAX: 0164-22-8134
E-mail: iju_support@city.fukagwa.lg.jp	
URL: http://www.city.fukagawa.lg.jp/iju/	
応募宛先 〒074-8650 北海道深川市 2 条 17 番 17 号 深川市役所移住定住サポートセンター	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いしかりし
No.- 3 : 北海道石狩市 (人口: 58,345人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

・新千歳空港 → バスで約 50 分 → 地下鉄麻生駅 → バスで約 30 分 → 石狩市役所

(2) 事業実施の目的等

・地域商店街の魅力化に向け、国内外の大学生インターンと商店街関係者とで連携して取り組む地域づくりインターンプログラムです。

(3) 体験の内容

- ① 商店街における個店ヒアリング
- ② 商店街個店の魅力アップに向けた提案及び改善作業
- ③ 商店街におけるイベント企画及び運営サポート
- ④ 活動内容及び生活体験情報の発信 (SNS)
- ⑤ 商店街魅力化に向けたプレゼンテーション

(4) 受入主体

石狩市

(5) 受入期間

7月30日(火)～8月30日(金) 32日間
※原則土日祝は休日、実質の活動は23日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自己負担
① 要件	・地域づくり、地域の産業振興に興味のある方 ・大学院生、大学生、短期大学生、高等専門学校生（4年生以上）
② 応募締切り	2019年5月17日（金）
③ 宿泊施設	石狩市が用意するシェアハウス（男女別）
④ 食事形態	基本はルームメイトで自炊
⑤ その他	何らかの理由（試験など）で上記受入期間の全期間での参加が難しい場合は、その旨ご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

・商店街魅力化の提案だけではなく、商店街関係者とともに実際の改善作業にも携わって頂くなど、これまでに自身が大学等で学んできたことを地域の商店街を舞台に、それを形にしていよいよ実践的なインターンプログラムです。
・併せて涼しい北海道でのサマー・ローカルライフも体験して頂けます。
※昨年、一昨年のインターンの様子や参加者の体験記は、下記 HP からご覧頂けます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道石狩市	担当部署 企画経済部 商工労働観光課
(ふりがな) かわた ひろふみ 担当者氏名 河田 寛史	TEL : 0133-72-3166 (直通) FAX : 0133-72-3540
E-mail : syoukour@city.ishikari.hokkaido.jp	
URL : http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/syoukour/33929.html	
応募宛先 〒061-3292 北海道石狩市花川北 6 条 1 丁目 30 番地 2 石狩市企画経済部商工労働観光課 担当：河田 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 : 北海道石狩市 (人口: 58,345人)
いしかりし

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

・新千歳空港 → バスで約50分 → 地下鉄麻生駅 → バスで約30分 → 石狩市役所

(2) 事業実施の目的等

・地域の生業に触れ、地域の方々とふれあいながら、地域のリアルな暮らしを体験するインターンプログラムです。

(3) 体験の内容

- ・原則、市内の受入事業者宅に住み込んで、指定された業務を担って頂きます。
(例: 果樹園での収穫や加工作業、民宿や海の家での接客や調理補助、アウトドアガイドなど)
- ・原則、複数(2事業者以上)で取り組んで頂く事で、より地域の基幹産業への理解を深めて頂きます。
- ・本インターンを通じて、業務改善並びに魅力アップに関する提案を事業者に行って頂きます。

(4) 受入主体

石狩市

(5) 受入期間

時期: 4月27日(土)~10月31日(木)
※原則10日間以上、週に2日以上の日付与

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
① 要件	・地域づくり、地域の産業振興に興味のある方 ・大学院生、大学生、短期大学生、高等専門学校生(4年生以上)
② 応募締切り	2019年5月17日(金) ※4月及び5月にインターンを希望する場合は、4月15日(月)
③ 宿泊施設	受入事業者が指定する場所(自宅等)
④ 食事形態	受入事業者が用意
⑤ その他	作業内容によって、汚れてもよい服装などをご用意頂くことになります。

(7) 地域担当者から一言

・涼しい北海道におけるローカルワーク、ローカルライフを体験するとともに、その魅力発信、さらには受入先の業務改善や魅力アップなどにも取り組んで頂きます。
※昨年、一昨年のインターンの様子や参加者の体験記は、下記HPからご覧頂けます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道石狩市	担当部署 企画経済部 商工労働観光課
(ふりがな) かわた ひろふみ 担当者氏名 河田 寛史	TEL: 0133-72-3166(直通) FAX: 0133-72-3540
E-mail: syoukour@city.ishikari.hokkaido.jp	
URL: http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/syoukour/33178.html	
応募宛先 〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 石狩市企画経済部商工労働観光課 担当: 河田 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かみすながわちょう

No.- 5 : 北海道上砂川町 (人口: 2, 987人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 函館本線 砂川駅下車 徒歩で砂川市立病院前 北海道中央バス 役場前バス停
(札幌駅—砂川駅 約 50 分) (砂川駅—砂川市立病院前 約 5 分) (砂川市立病院前—上砂川町役場 約 15 分)

(2) 事業実施の目的等

- ・交流人口の増加を図り、都市圏や地方の新しい意見を取り入れたい。
- ・北海道の上砂川町を体験していただき北海道の良さ、上砂川町の良さを実感して欲しい。
- ・世界で活躍する製造業を見て・体験していただき就職先の一助となればと考える。

(3) 体験の内容

- ・町内企業（製造業・サービス業（温泉））での就業体験
- ・地域イベント（仮装盆踊り花火大会・雪ん子まつり・その他イベント）への参加・協力
- ・先輩移住者（地域おこし協力隊）と考える町おこし、交流会・相談会の実施
- ・溪流釣りや、そば打ち体験を始めとする体験メニューの実施

(4) 受入主体

上砂川町

(5) 受入期間

4月 1日（月）～ 翌3月31日（火）
(年末年始・お盆・GW等の長期休暇を除く)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：道外の方 — 最寄り空港までの航空機代（空港まで送迎） 道内の方 — JR 砂川駅までの交通費（砂川駅まで送迎） 宿泊費：無料（正し、上砂川シェアハウスに宿泊する場合に限る） 食事代：実費負担
①要件	・上砂川町に移住・二地域居住を検討する方、または上砂川町の企業に就職する意欲のある方で20歳以上50歳以下の方 ・アンケート調査及び広報誌、上砂川町 HP への写真掲載に協力いただける方 ・滞在期間中に原則3日（12時間以上）の就業体験が行える方 ・上記全てを満たす方
②応募締切り	・随時募集（体験期間の1ヶ月前までに申込）
③宿泊施設	・上砂川シェアハウス（建物の中に鍵付き個室で台所やトイレなどが共有）
④食事形態	・宿泊施設での自炊、または町内飲食店及びコンビニ等で各自
⑤その他	就業体験の日数は原則ですので相談いただければ協議し対応いたします

(7) 地域担当者から一言

中核都市に10分ほどの立地であり、ニジマス釣りやワカサギ釣り、カブトムシ捕りなどできる自然溢れ美味しい水と澄んだ空気が自慢の上砂川町で、皆さんも一緒に過ごしませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上砂川町役場	担当部署 企画課 地域振興係
(ふりがな) きたやま たかゆき 担当者氏名 北山 貴之	TEL : 0125-62-2223 (直通) FAX : 0125-62-3773
E-mail : kikaku@town.kamisunagawa.lg.jp	
URL : http://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/	
応募宛先 〒073-0292 北海道空知郡上砂川町字上砂川町40番地10 上砂川町役場企画課地域振興係	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

えんべつちょう
No.- 6 : 北海道遠別町 (人口: 2, 683人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【沿岸バス】特急はぼろ号 札幌駅前ターミナル ~ 沿岸バス遠別営業所 (約4時間)
 沿岸バス遠別営業所から徒歩5分程度

(2) 事業実施の目的等

『人と人とのつながりを大切にする』をテーマとして、地域の人たちとの交流、生活体験を通じて遠別町の「人と地域」に魅力を感じ、若い世代が地方への就業・移住のきっかけづくりになることを目的とします。

(3) 体験の内容

- ・地域活性化・まちづくりに関わる活動体験
 受入主体である「NPO法人えんべつ地域おこし協力隊」の活動体験 (移住交流、地元食材を使用した飲食店の運営や情報発信など※受入時期によって町内イベント、行事への参加)
- ・遠別町を知ってもらう体験プログラム
 地産地消のグルメ体験、町民の方とのふれあい体験、フォトトリップなど

(4) 受入主体

NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊

(5) 受入期間

通年 (事前に要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 本人負担 宿泊費: 本人負担 (1日 1千円 → 例: 4泊5日 5千円) 食事代: 本人負担
①要件	・地方での生活、地域活動に興味がある方 ・地方への就業、移住に関心がある方
②応募締切り	随時受付 (希望する日程の約1~2ヶ月前に事前のご相談をお願いします)
③宿泊施設	遠別町移住交流支援センター「ぴーぶる」 ・参考 URL: http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/ijuu/people/
④食事形態	宿泊施設での自炊が基本となりますが、町内に飲食店やコンビニ等あります。
⑤その他	この体験に参加するにあたってのご相談や詳細については、下記の担当者へメール、電話等でお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

遠別町は、人口の少ない小さな町だからこそ『人と人とのつながりを大切に』しており、地域と人を身近に感じられる町です。また、日本最北の米どころであり、漁業や酪農などの第一次産業を主体とした「食・文化・人々」を通じて楽しんでいただきたいです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遠別町	担当部署 総務課 企画振興係
(ふりがな) のむら たつひろ 担当者氏名 野村 達宏	TEL: 01632-7-2111 (内線) 217 FAX: 01632-7-3695
E-mail: kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp	
URL: http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/	
応募宛先 〒098-3543 北海道天塩郡遠別町字本町3丁目37番地 遠別町役場 総務課企画振興係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 7 : 北海道美幌町^{びほろちょう} (人口: 19, 579人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・女満別空港から車で約10分(バス乗車可)
- ・JR北海道 特急オホーツク、特急大雪 美幌駅下車
- ・都市間バス(札幌市～美幌駅前バスターミナル下車)

(2) 事業実施の目的等

一次産業を始めとした地域の魅力発信と交流・関係人口の増加による地域活性化

(3) 体験の内容

- ①農業体験 地域基幹作物(アスパラガス、馬鈴しょ、人参、玉葱、乳牛、肉牛等)による農業体験。
 - ②自然体験 観光名所として名高い”美幌峠”での星空観測や雲海観測。
また、星空観測イベントの開催。
 - ③健康体験 ヨガ体験(ヨガスタジオあり)で心身のリフレッシュの場を提供。
- ※以上3つの体験メニューを自由に選択、組み合わせしてもらう形の複合的な受入事業を展開する計画。

(4) 受入主体

美幌町観光まちづくり協議会
(構成: 町、商工会議所、JA等)

(5) 受入期間

- ・農業体験 7月～10月
- ・自然体験 7月～10月
- ・健康体験 通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	問わない
②応募締切り	特になし。(要相談)
③宿泊施設	民間宿泊施設、町関連宿泊施設
④食事形態	体験内容によって昼食の提供あり。(宿泊施設では朝食のみ提供) ※いずれも有料
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

高校修学旅行者(関西圏)からも絶賛される感動体験を必ずご提供します!
まずはお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 美幌町	担当部署 経済部 미래農業センター
(ふりがな) ごらい ひろし 担当者氏名 午来 博	TEL: 0152-75-2324 (直通) FAX: 0152-75-2325
E-mail: mirais@town.bihoro.hokkaido.jp	
URL: (美幌町 HP) http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/	
応募宛先 〒092-0030 北海道網走郡美幌町字美富29番地1 美幌みらい農業センター	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 8 : 北海道浦河町 (人口: 12,445人)
うらかわちょう

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新千歳空港より道南バス「特急ひだか優駿号」役場前停留所で下車(約3時間)
札幌駅より道南バス「高速ペガサス号」役場前停留所で下車(約3時間20分)

(2) 事業実施の目的等

保健師を目指す学生に、海と山に囲まれた自然豊かな暮らしや、地域に根差した保健師の就業体験を通して、当町で「働き」「暮らす」ことの魅力をPRすることで、不足しがちな保健師の確保及び若年層の移住を促進するため。

(3) 体験の内容

・就業体験(保健事業の見学及び補助)
・生活体験(町内散策、乗馬体験、野鳥観察、魚さばき体験、カフェめぐり、町民との交流会等)
※体験メニューは時期によって変動します。

(4) 受入主体

浦河町

(5) 受入期間

随時(ご相談ください)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 補助有(ご相談ください) 宿泊費: 補助有(ご相談ください) 食事代: 自己負担となります。
① 要件	保健師を目指している方
② 応募締切り	随時(ご相談ください)
③ 宿泊施設	生活体験住宅、ホテルなど
④ 食事形態	自炊等
⑤ その他	—

(7) 地域担当者から一言

太平洋と日高山脈に囲まれた「競走馬のふるさと」北海道・浦河町で、地域に根差した保健師の就業体験と、自然豊かな暮らしの体験をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 浦河町	担当部署 商工観光課 移住促進係
(ふりがな) あらき まり 担当者氏名 荒木 麻里	TEL: 0146-26-9013(直通) FAX: 0146-22-1240
E-mail: ijuturn@town.urakawa.hokkaido.jp	
URL: http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/index.html	
応募宛先 〒057-8511 北海道浦河郡浦河町築地1丁目3番1号	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

うらかわちょう
No.- 9 : 北海道浦河町 (人口: 12,445人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新千歳空港より道南バス「特急ひだか優駿号」役場前停留所で下車 (約3時間)
札幌駅より道南バス「高速ペガサス号」役場前停留所で下車 (約3時間20分)

(2) 事業実施の目的等

将来的なファンづくりや移住促進に繋げるため、大学生等の若者を対象に実施します。

(3) 体験の内容

・就業体験
・生活体験 (町内散策、乗馬体験、野鳥観察、魚さばき体験、カフェめぐり、町民との交流会等)
※体験メニューは時期によって変動します。

(4) 受入主体

浦河町

(5) 受入期間

平成31年夏以降

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担となります。 宿泊費: 町が負担します。 食事代: 自己負担となります。
① 要件	・町内に2週間以上滞在が可能な者
② 応募締切り	未定 (お問い合わせください)
③ 宿泊施設	生活体験住宅等
④ 食事形態	自炊等
⑤ その他	—

(7) 地域担当者から一言

海と山に囲まれた自然豊かな「競走馬のふるさと」北海道・浦河町で、魅力あふれる景色・人・食とふれあいながら、地域の「暮らし」を体験しませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 浦河町	担当部署 商工観光課 移住促進係
(ふりがな) あらき まり 担当者氏名 荒木 麻里	TEL: 0146-26-9013 (直通) FAX: 0146-22-1240
E-mail: ijuturn@town.urakawa.hokkaido.jp	
URL: http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/index.html	
応募宛先 〒057-8511 北海道浦河郡浦河町築地1丁目3番1号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 0 : 北海道士幌町^{しほろちょう} (人口: 約 6, 200 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

・帯広駅から車で約40分 ・釧路空港から車で約70分 ・帯広空港から車で70分

(2) 事業実施の目的等

若者が地域の方々と仕事を通して交流する中で、今後の生き方を考えるきっかけにしてほしい。
若者が地域課題を体感し、解決するプロセスを学ぶことで、今後のキャリアに役立ててほしい。
(地域課題を学ぶ学習会等を検討しております)
関係人口を増やし、地域課題や農業への理解を促していきたいと考えております。

(3) 体験の内容

- ①農業体験: 畑作・酪農・畜産体験 / 働いている方との交流
- ②就業体験: 株式会社 CheerS (地域商社) での就業体験
地域に密着した商品開発や加工・製造・販売活動等
- ③加工体験: 食品加工研修センターにおける十勝の食材を使った食品加工体験

(4) 受入主体

(株) CheerS

(5) 受入期間

7月~9月 (期間については要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 各自負担 (事前に安く来られる方法を相談) 宿泊費: 各自負担 食事代: 各自負担 (生産者や地元の方と交渉) ※最寄りまでの送迎については要相談
① 要件	事前の申し込み段階でやりとりのできる方
② 応募締切り	随時ご相談ください。
③ 宿泊施設	(参考) 町内宿泊施設 5500円 (食事つき) 温泉旅館 4500円 (食事つき) 研修施設 3000円 (素泊まり)
④ 食事形態	就業場所、宿泊施設により変動いたします。
④ その他	

(7) 地域担当者から一言

人口約 6,200 人。牛口約 70,000 頭。十勝の真ん中に位置する士幌町。
北の大地北海道で、普段は関わることのできないような人や自然と関わってみてください。
体験交流が皆さんの「これから」を考える、ひとつのきっかけとなることを願っております。
「若い」はエネルギーです。まずはお気軽にお問い合わせください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道士幌町役場	担当部署 総務企画課 企画グループ
(ふりがな) ごうはら としひろ 担当者氏名 郷原 敏宏	TEL: 01564-5-5212 (直通) FAX: 01564-5-4304
E-mail: chousei@town.shihoro.lg.jp	
URL: http://www.shihoro.jp/	
応募宛先 〒080-1200 北海道河東郡士幌町字士幌 2 2 5 番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しみずちょう
No.- 1 1 : 北海道清水町 (人口: 9, 487人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR根室線 十勝清水駅
とち帯広空港から車60分、バス・JR利用で80分

(2) 事業実施の目的等

- ・日本の食糧基地である北海道・十勝において、農業の現場に触れることで、普段食べているものがどこから来るのか、どうやって作られているのかを考える機会として欲しい。
- ・この体験をきっかけに、終了後も何らかの形で清水町と関わりを持ってほしい。

(3) 体験の内容

- ・受入事業者における就業体験（農業（酪農・畑作）、観光施設など）
- ・地域のイベントへの参加・協力（参加時期による）
- ・地域住民との交流（参加者の希望による）

(4) 受入主体

清水町

(5) 受入期間

随時（受入事業者による）
14～30日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担（現地での移動は自動車貸与） 宿泊費：なし 食事代：自己負担
①要件	北海道外に居住する18歳以上の方（高校生不可） 農村での生活や農業・自然に興味のある方
②応募締切り	特になし
③宿泊施設	シェアハウス
④食事形態	各自で自炊により対応
⑤その他	必要に応じて作業服等貸与

(7) 地域担当者から一言

北海道ならではの広大な農場やガーデンで就業体験してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道清水町	担当部署 商工観光課観光振興係
(ふりがな) かわはら もとひろ 担当者氏名 川原 基央	TEL : 0156-62-1156 (直通) FAX : 0156-62-5116
E-mail : tokachi4321@gmail.com	
URL : http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/	
応募宛先 〒089-0192 北海道上川郡清水町南4条2丁目2 清水町役場商工観光課 (事前にメールでご連絡ください)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

くろいしし
No.- 1 2 : 青森県黒石市 (人口: 約 34,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新青森駅→(JRで約30分) 弘前駅→(弘南鉄道で約30分) →黒石駅
 青森空港→(タクシーで約45分) →黒石駅

(2) 事業実施の目的等

都市部の人々に農作業体験や地域交流などを通して、黒石市の魅力を体感してもらい、滞在型観光による消費の拡大、人や情報の流れを創出し、将来的には定住促進を図る。

(3) 体験の内容

ワーホリ黒石!
 ・農業体験(りんごの収穫など)
 ・地域イベント(黒石ねぶたまつり、黒石よされ等)の参加体験

(4) 受入主体

黒石市

(5) 受入期間

7 月 中旬～9 月 下旬
 * 随時募集・調整

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 要相談 宿泊費: 半額助成あり 食事代: 個人負担
① 要 件	主に県外在住の大学生、社会人
② 応募締切り	要相談
③ 宿泊施設	黒石市が提携した宿泊施設及び農家民泊
④ 食事形態	朝: 宿泊施設にて提供 昼: ほぼ自己負担 夜: 宿泊施設にて提供
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

夏休みを利用して、日中はりんご等農作業、夜はねぶた祭りやよされ流し踊りに参加して、忘れられない思い出を作りませんか。美味しい水、りんご、米を味わって頂きたいので是非、黒石に集まれ!

(8) お問い合わせ先

自治体名 黒石市	担当部署 農林部 農林課 六次産業化推進係
(ふりがな) むらもと わかこ 担当者氏名 村元 和香子	TEL: 0172-52-2111 (内線 654、655) FAX: 0172-53-1839
E-mail: kuro-rokujika@city.kuroishi.aomori.jp	
URL:	
応募宛先 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11番地1号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 3 : 青森県^{とわだし}十和田市 (人口: 61,717人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線) — 十和田市中央バス停(十和田観光電鉄株) — 受入農家へ
(30分) (タクシー等)

(2) 事業実施の目的等

生産量日本一を誇るにんにくを始め、長芋、ゴボウ、ねぎ等の生産が盛んな十和田市。
農作業に触れ、農作物の素晴らしさを発見してもらい、また農家と一緒に農作業をして寝食を共にすることで、人の温かさや地方の文化や知恵を学んでもらうことを目的としています。

(3) 体験の内容

農業体験 (田植え、にんにく、長芋、ごぼう、ねぎ等の植え付け・収穫)
農家民泊

(4) 受入主体

十和田農業体験連絡協議会

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	体験料金: 要相談 (例: 1泊2日、2食(夜・朝)、農業体験(半日) 7,200円) 現地までの交通費: 自己負担
① 要件	農業や農家生活に興味のある方
② 応募締切り	随時
③ 宿泊施設	農家民泊
④ 食事形態	食事体験 (共同で調理) として提供
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

当協議会では、食の大切さと心と心のふれあいを実感できる交流を実施しています。野菜を育てる現場での作業や農家での団らんを通じて、ここでしかできない体験をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部 とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) せい の たくと 担当者氏名 清野 拓人	TEL: 0176-51-6743 (直通) FAX: 0176-22-9399
E-mail: sanpin@city.towada.lg.jp	
URL: http://www.city.towada.lg.jp/docs/2016122800051/	
応募宛先 〒034-0011 十和田市稲生町 18-33 十和田農業体験連絡協議会事務局 (市民交流プラザタワー内) TEL: 080-8206-5608	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とわだし
No.- 1 4 : 青森県十和田市 (人口 : 61,717人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線)→十和田市中央バス停(十和田観光電鉄株)→道の駅とわだ匠工房 (30分)	(タクシー20分)
--	-----------

(2) 事業実施の目的等

十和田市は古くからの馬産地であり、馬の飼料用作物であるデントコーンの皮を再利用しようと、農家の女性らの知恵と工夫で生み出された「きみがらスリッパ(青森県伝統工芸品)」を生産組合員と一緒に製作体験をすることで、きみがらスリッパの歴史や製作について学び、手づくりの良さに触れることを目的としています。

(3) 体験の内容

きみがらスリッパの製作体験(午前10時～午後3時) ※昼休憩1時間含む
製作指導は十和田きみがらスリッパ生産組合の組合員が行います。

(4) 受入主体

十和田きみがらスリッパ生産組合

(5) 受入期間

毎月第3日曜日
(午前10時～午後3時) ※昼休憩1時間含む

(6) 応募上の注意

※費用負担	体験料金 : 3,500円(材料費含む) 現地までの交通費 : 自己負担
① 要件	無し
② 応募締切り	実施日の1週間前の事前予約が必要です。
③ 宿泊施設	宿泊無し
④ 食事形態	各自
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

熟練の組合員でも作れるのは1日1足程度と手間と時間がかかりますが、足を入れた瞬間ふわりと包み込まれるような優しい履き心地で、1足約120gと非常に軽く、湿度を吸収・放出し夏は涼しく冬は温かいスリッパです。そんなスリッパ製作を体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部 とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) せい の たくと 担当者氏名 清野 拓人	TEL : 0176-51-6743 (直通) FAX : 0176-22-9399
E-mail : sanpin@city.towada.lg.jp	
URL : http://www.city.towada.lg.jp/docs/2018021300021/	
応募宛先 〒034-8615 十和田市西十二番町6-1 十和田きみがらスリッパ生産組合事務局(十和田市農林部とわだ産品販売戦略課内)	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-15 : 青森県つがる市 (人口: 32,625人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新青森駅からつがる市役所まで JR 奥羽本線・五能線で約80分 木造駅下車 徒歩10分
青森空港から青森駅まで JR バス東北で約35分
各地からのアクセス
東京: ・東北新幹線 東京—新青森駅 約3時間 ・飛行機 羽田—青森 約80分
大阪: ・飛行機 伊丹—青森空港 約95分
名古屋: ・飛行機 名古屋小牧—青森空港 約50分

(2) 事業実施の目的等

首都圏在住の大学生や大学院生が、つがる市での生活体験や遊休施設等の視察を通して将来的な居住や地域での役割を現実的に検討してもらうことを目的として行います。

(3) 体験の内容

- ・農業体験(リンゴ、メロン等の農作物の収穫など)
- ・市内見学(遊休施設、商店街、空き店舗等)
- ・郷土料理調理体験
- ・縄文文化の体感 など

(4) 受入主体

つがる市

(5) 受入期間

8月~9月

(6) 応募上の注意

※費用負担	食費・宿泊費・交通費等含め5,000~10,000円程度
①要件	首都圏在住の大学生及び大学院生で、将来地方への移住や田舎暮らしに興味・関心のある方
②応募締切り	応募締め切りはツアー当日の2週間前程度 専用の申し込みフォームから申し込みをしていただきます。
③宿泊施設	市施設もしくは市内宿泊施設
④食事形態	食事は提供(一部共同調理) 参加料に込み
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

都会の暮らしから離れて、本州最北端青森県つがる市で田舎暮らしを体験しませんか？
皆様のご参加お待ちしております！

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県つがる市	担当部署 総務部 企画調整課 地域創生対策室
(ふりがな) いしおか ゆうすけ 担当者氏名 石岡 祐輔	TEL : 0173-42-2271 (直通) FAX : 0173-42-3609
E-mail : happy@city.tsugaru.aomori.jp	
URL : http://www.city.tsugaru.aomori.jp/	
応募宛先 〒038-3192 青森県つがる市木造若緑61-1 つがる市役所地域創生対策室	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 6 : 青森県鶴田町 (人口: 12,988人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R五能線 陸奥鶴田駅から徒歩5分
(新青森駅よりJ R奥羽本線~J R五能線で約75分)

(2) 事業実施の目的等

鶴田町では県外からの移住及び交流人口を増やし、町内グリーンツーリズム受入農家を増やすため、お試し移住農業体験を開催します。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (リンゴの摘果、トマトの収穫、リンゴ・スチューベンブドウ収穫)
- ・町内観光

(4) 受入主体

鶴田町
鶴田町グリーンツーリズム受入農家

(5) 受入期間

6月18日(火) ~ 6月21日(金)
4日間
9月24日(火) ~ 9月27日(金)
4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 (町が助成) 食事代: 無料 (町が助成)
①要件	鶴田町への移住と就農に興味のある県外の方
②応募締切り	1回目: 6月7日(金) 2回目: 9月13日(金)
③宿泊施設	つがる富士見荘
④食事形態	つがる富士見荘では朝・夕を提供 (昼食は各自)
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。 (作業着、帽子、作業ズック (雨天の場合は長靴、雨合羽))

(7) 地域担当者から一言

日本一長い木造三連太鼓橋「鶴の舞橋」や町内観光施設を観光ガイド付きで観光して、町特産のスチューベンブドウやリンゴの農家で農作業を体験することで、鶴田町に対する若い人の率直な意見を必要としています。運が良ければ全国区となっている「ツル多はげます会」との交流もあるかも。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県鶴田町	担当部署 企画観光課 まちづくり班
(ふりがな) ささき ともひさ 担当者氏名 佐々木 智寿	TEL: 0173-22-2111 (内線 263) FAX: 0173-22-6007
E-mail: tomohisa_sasaki@town.tsuruta.lg.jp	
URL: http://www.town.tsuruta.lg.jp/index.html	
応募宛先 〒038-3595 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬 200-1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちのへまち
No.- 1 7 : 青森県七戸町 (人口: 15, 824人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅 (東北新幹線) - 七戸町役場 (車 10分)

(2) 事業実施の目的等

自主的な会員相互の連携によるグリーン・ツーリズムの積極的実践をめざすものである。都市との交流により農家や高齢者等の生きがいづくり、更には地域住民相互の親睦を深め地域活性化を推進することを目的とする。

(3) 体験の内容

○農業体験 (にんにく・長いも・ごぼう・トマト・りんごの収穫体験など) その他体験
○農家民泊
体験や民泊についてはご相談ください。

(4) 受入主体

(一社) しちのへ観光協会

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 要相談 (1泊2日、3食、農業体験1回付 10,600円) 食事代: 上記に含まれる
①要件	お問い合わせください
②応募締切り	実施日の2週間前まで
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	農家より提供
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

暮らしや農業を通じ七戸町ならではの田舎を体験することができます。
『かだれ』とは、青森県南部地方の方言で、「仲間になって」と「語ろうよ」の二つの意味があります。農家さんが心からおもてなしいたします。

(8) お問い合わせ先

自治体名 (一社) しちのへ観光協会	担当部署 七戸町役場 地域おこし総合戦略課
(ふりがな) さかもと わたる 担当者氏名 坂本 亘	TEL: 0176-58-7109 (直通) FAX: 0176-58-7129
E-mail: shichinohe-kankou@outlook.jp	
URL: https://www.shichinohe-kankou.jp/kadare	
応募宛先 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 207 (一社) しちのへ観光協会	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 8 : 岩手県宮古市^{みやこし} (人口: 52,973人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山田線 宮古駅

(2) 事業実施の目的等

漁業の担い手確保のため

(3) 体験の内容

ワカメ・コンブ・ホタテ・カキ等の養殖漁業体験
定置網漁・沖底曳網漁体験

(4) 受入主体

宮古市漁業就業者育成協議会

(5) 受入期間

年に2~5回程度開催

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 (宮古市役所から現地までの送迎あり) 宿泊費: 参加者負担 食事代: 参加者負担
①要件	漁業に興味のある人、漁業就業を検討している人
②応募締切り	開催日の2週間前まで
③宿泊施設	なし (参加者ご自身で市内の宿泊施設等を確保してください。)
④食事形態	なし (参加者ご自身で用意してください。)
⑤その他	合羽・救命胴衣・ゴム手袋は準備するが、長靴等は参加者が持参。

(7) 地域担当者から一言

漁業に興味を持っている人、漁業就業を検討されている人をお待ちしております。

(8) お問合せ先

自治体名 岩手県宮古市	担当部署 産業振興部水産課水産振興係
(ふりがな) たかやしき けい 担当者氏名 高屋敷 圭	TEL: 0193-68-9099 (直通) FAX: 0193-63-9116
E-mail: suisan@city.miyako.iwate.jp	
URL: http://www.city.miyako.iwate.jp	
応募宛先 〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目1番30号	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

くずまきまち
No.- 19 : 岩手県葛巻町 (人口 : 6, 188人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅から東北新幹線いわて沼宮内駅まで約2時間30分
いわて沼宮内駅から葛巻町役場まで車で約45分

(2) 事業実施の目的等

北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち「葛巻町」の知名度を高め、特に県外の若い世代に町の自然や食文化、また人の魅力を伝え、コミュニティを拡大する。

(3) 体験の内容

- ・くずまき型DMOを中心とした観光地域づくりプロジェクトへの参加
- ・くずまき高原牧場やくずまきワインなど町の基幹産業の見学や作業体験、イベント参加
- ・地域住民や移住者との交流
- ・その他希望に応じて

(4) 受入主体

葛巻町

(5) 受入期間

※通年で、ご相談に応じます

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担（いわて沼宮内駅からの送迎あり） 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	葛巻町の町づくりに興味がある方
②応募締切り	1年を通じて随時相談に応じています。
③宿泊施設	①グリーンテージくずまき ②くずまき高原牧場プラトー
④食事形態	宿泊先において提供
⑤その他	体験内容やスケジュールは、個々の希望に応じてコーディネートいたします。

(7) 地域担当者から一言

葛巻町のリアルタイムの情報は、「いらっしやい葛巻推進室」のFacebookページをご覧ください。実際に現地を訪れる前に、東京で行われる観光や移住交流などのイベントで葛巻町の職員と会って話を聞くこともできます。お気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 葛巻町	担当部署 総務企画課 移住定住係
(ふりがな) こうの あきひろ 担当者氏名 河野 晃大	TEL : 0195-66-2111 (内線) 224 FAX : 0195-66-2101
E-mail : kuzumaki0106@town.kuzumaki.iwate.jp	
URL : http://www.kuzumaki.iwate.jp	
応募宛先 〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻16-1-1 葛巻町役場総務企画課いらっしやい葛巻推進室移住定住係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

やまだまち

No.-20 : 岩手県山田町 (人口: 15,619人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

陸中山田駅 (三陸鉄道 ※2019年3月23日開通)
東京～盛岡～宮古～山田 (盛岡から約3時間程度)

(2) 事業実施の目的等

山田町のいいところを若者世代にPRするため実施します。山田町の魅力 (自然、産業、レジャー等) を実際に体験してもらい、山田町に興味・好感を持ってもらいたいと思っています。

(3) 体験の内容

・農業体験
・山田湾クルーズと山田の漁師との交流
※マッチング状況・天候等により変更になる可能性があります。

(4) 受入主体

山田町

(5) 受入期間

31年9月2日～4日の2泊3日間
※マッチング状況等により変更の場合あり。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 山田町が負担します。 食事代: 山田町が負担します。
① 要件	・大学生、大学院生 ・地方での生活・仕事に興味のある方
② 応募締切り	一カ月前にはお問い合わせください。
③ 宿泊施設	【一泊目】光山温泉 【二泊目】ケビンハウス ※空き状況により変更になる場合がございます。
④ 食事形態	すべて山田町で負担。山田町の体験交流で負担していただくものは、山田町への交通費のみです。
⑤ その他	農業体験を行う予定ですので、農作業ができる服装・シューズを用意してください。

(7) 地域担当者から一言

山田町は、夏は冷涼で冬は積雪の少ないとても住みやすい港町です。震災からの復興も落ち着き、以前の生活を取り戻しつつあります。新しく生まれかわろうとしている山田町で、産業・自然・食文化を体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県山田町	担当部署 復興企画課政策推進係
(ふりがな) はが ひろゆき 担当者氏名 芳賀 裕将	TEL: 0193-82-3111 (内線 362) FAX: 0193-82-5611
E-mail: hagahiro-oh@town.yamada.iwate.jp	
URL:	
応募宛先 〒028-2302 岩手県下閉伊郡山田町八幡町3番20号 復興企画課担当宛	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いわいずみちょう
No.-21 : 岩手県岩泉町 (人口: 9,389人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東北新幹線・東北本線 盛岡駅下車 JRバス東北・早坂高原線 岩泉病院前下車 徒歩6分

(2) 事業実施の目的等

○テーマ「地域で働くことは 地域で暮らすこと」 就職を控えた大学生の皆さんに、地方で働くこと、地方で暮らすこと等の魅力をリアルに伝えます。
--

(3) 体験の内容

○「岩泉型インターンシップ」(地域志向型インターンシップ) <ul style="list-style-type: none">・合同ガイダンス・町内企業にてインターンシップ・若手UIターン者の話を聞く会、地域の経営者等との交流会・町内見学(龍泉洞等)・合同報告会
--

(4) 受入主体

岩泉町

(5) 受入期間

8月中旬 ~ 8月下旬
8日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：盛岡駅までは自己負担(盛岡駅から当町までは自己負担無し) 宿泊費：自己負担無し 食事代：自己負担
① 要件	○大学生 地方(特に過疎地)での就職も選択肢の一つとして考えており、その現場を実際に体験し、将来について考えたい人。
② 応募締切り	5月31日(金)
③ 宿泊施設	コテージ(ふれあいランド岩泉)
④ 食事形態	朝夕は参加者共同で自炊。昼食は各自。
⑤ その他	10人程度の参加者で共同生活をしながら、各自のインターンシップ先に行く形となります。

(7) 地域担当者から一言

「岩泉型インターンシップ」について、以下のHPに紹介していますのでご参考ください。 なお、受入事業所は4月以降に決定します。関心のある方はご連絡ください。 https://bit.ly/2xbjgoh

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県岩泉町	担当部署 政策推進課 地方創生対策室
(ふりがな) あいざわ みつえ 担当者氏名 相沢 光栄	TEL : 0194-22-2111 (内線 420) FAX : 0194-22-3562
E-mail : seisaku@town.iwaizumi.lg.jp	
URL : https://www.town.iwaizumi.lg.jp/ (岩泉町HP)	
応募宛先 〒027-0595 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑 59番地5 岩泉町役場 政策推進課 地方創生対策室	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちかしゆくまち
No.- 2 2 : 宮城県七ヶ宿町 (人口: 1, 391人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線・白石蔵王駅から町営バス 50分

(2) 事業実施の目的等

町民と町外の若者とが一緒に「こと」を造り上げてほしい。
町内に若者のエネルギーをそそいでほしい。
七ヶ宿町の活動を若い人にも知ってもらいたい。

(3) 体験の内容

七ヶ宿自然体験“田植え&春山散策”運営
開催準備～当日運営サポートスタッフとしての活動

(4) 受入主体

(株)七ヶ宿くらし研究所

(5) 受入期間

5月下旬 5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入先負担 食事代：受入先負担
①要件	町外20才以上の大学生及び大学院生等の学生 自然と人が好きな人3名程度
②応募締切り	4月下旬
③宿泊施設	街道HOSTEL おたて(ドミトリールーム)、七ヶ宿町お試し住宅
④食事形態	町民・主催者スタッフと共同調理
⑤その他	田植え・畑作業用服装準備

(7) 地域担当者から一言

移住定住支援センター七ヶ宿くらし研究所が主催する事業を若い感性で盛り上げて下さい。
七ヶ宿町のブランド米“源流米”を昔ながらの手植えでの体験会。
参加する町外の家族と一緒に土に、春山の植物に触れて下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 七ヶ宿町	担当部署 ふるさと振興課 企画係
(ふりがな) あんどう ともゆき 担当者氏名 安藤 友幸	TEL: 0224-37-2194 (直通) FAX: 0224-37-2468
E-mail: shichi24@town.shichikashuku.miyagi.jp	
URL: https://town.shichikashuku.miyagi.jp/	
応募宛先 〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下39-2 移住・定住支援センター(株)七ヶ宿くらし研究所 TEL0224-26-6933	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちかしゆくまち
No.- 2 3 : 宮城県七ヶ宿町 (人口 : 1, 3 9 1 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線・白石蔵王駅から町営バス 50 分

(2) 事業実施の目的等

町民と町外の若者とが一緒に「こと」を造り上げてほしい。
町内に若者のエネルギーをそそいでほしい。
七ヶ宿町の活動を若い人にも知ってもらいたい。

(3) 体験の内容

七ヶ宿自然体験“里山再生プロジェクト Vol4・Vol5”運営
開催準備～当日運営サポートスタッフとしての活動

(4) 受入主体

(株)七ヶ宿くらし研究所

(5) 受入期間

6 月下旬 5 日間
10 月中旬 5 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入先負担 食事代：受入先負担
①要件	町外 20 才以上の大学生及び大学院生等の学生 自然と人が好きな人 3 名程度
②応募締切り	Vol4 : 5 月下旬 Vol5 : 9 月中旬
③宿泊施設	街道 HOSTEL おたて (ドミトリールーム)、七ヶ宿町お試し住宅
④食事形態	町民・主催者スタッフと共同調理
⑤その他	山作業服装準備

(7) 地域担当者から一言

移住定住支援センター七ヶ宿くらし研究所が主催する事業を若い感性で盛り上げて下さい。
人口減少・高齢化による里山の荒廃・・・。
水守の郷七ヶ宿町の水を生む・守る里山再生に参加するご家族と一緒に皆さんのお力をお貸し
ください。もちろん 6 月・10 月いずれか 1 回の参加も可能です。

(8) お問い合わせ先

自治体名 七ヶ宿町	担当部署 ふるさと振興課 企画係
(ふりがな) あんどう ともゆき 担当者氏名 安藤 友幸	TEL : 0224-37-2194 (直通) FAX : 0224-37-2468
E-mail : shichi24@town.shichikashuku.miyagi.jp	
URL : https://town.shichikashuku.miyagi.jp/	
応募宛先 〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下 39-2 移住・定住支援センター (株)七ヶ宿くらし研究所 TEL0224-26-6933	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちかしゆくまち
No.- 2 4 : 宮城県七ヶ宿町 (人口 : 1, 3 9 1 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線・白石蔵王駅から町営バス 50 分

(2) 事業実施の目的等

町民と町外の若者とが一緒に「こと」を造り上げてほしい。
町内に若者のエネルギーをそそいでほしい。
七ヶ宿町の活動を若い人にも知ってもらいたい。

(3) 体験の内容

七ヶ宿自然体験“みんなでホテル観賞”の運営
開催準備～当日運営サポートスタッフとしての活動

(4) 受入主体

(株)七ヶ宿くらし研究所

(5) 受入期間

7月初旬～7月中旬 14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入先負担 食事代：受入先負担
①要件	町外 20 才以上の大学生及び大学院生等の学生 自然と人が好きな人 3 名程度
②応募締切り	6 月下旬
③宿泊施設	街道 HOSTEL おたて (ドミトリールーム)、七ヶ宿町お試し住宅
④食事形態	町民・主催者スタッフと共同調理
⑤その他	作業服装準備

(7) 地域担当者から一言

移住定住支援センター七ヶ宿くらし研究所が主催する事業を若い感性で盛り上げて下さい。
3種類のホテル(ヒメ・ゲンジ・ヘイケ)生息地七ヶ宿町湯原で地域づくり委員会の皆さんと
一緒に観賞会とくらげん café にお越しのホテル観賞の客様と一緒にホテルと友達になってく
ださい。(ホテル達は Café の裏口までやってきます)

(8) お問い合わせ先

自治体名 七ヶ宿町	担当部署 ふるさと振興課 企画係
(ふりがな) あんどう ともゆき 担当者氏名 安藤 友幸	TEL : 0224-37-2194 (直通) FAX : 0224-37-2468
E-mail : shichi24@town.shichikashuku.miyagi.jp	
URL : https://town.shichikashuku.miyagi.jp/	
応募宛先 〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下 39-2 移住・定住支援センター (株)七ヶ宿くらし研究所 TEL0224-26-6933	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちかしゆくまち
No.-25 : 宮城県七ヶ宿町 (人口: 1, 391人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線・白石蔵王駅から町営バス 50分

(2) 事業実施の目的等

町民と町外の若者とが一緒に「こと」を造り上げてほしい。
町内に若者のエネルギーをそそいでほしい。
七ヶ宿町の活動を若い人にも知ってもらいたい。

(3) 体験の内容

街道 HOSTEL おたて“山里の夏休み”運営(川遊び・SUP体験・溪流釣り・昆虫採集)
開催準備～当日運営サポートスタッフとしての活動

(4) 受入主体

(株)七ヶ宿くらし研究所

(5) 受入期間

8月初旬～8月下旬 約1ヶ月間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入先負担 食事代：受入先負担
①要件	町外20才以上の大学生及び大学院生等の学生 自然と人が好きな人3名程度
②応募締切り	7月上旬
③宿泊施設	街道 HOSTEL おたて(ドミトリールーム)、七ヶ宿町お試し住宅
④食事形態	町民・主催者スタッフと共同調理
⑤その他	作業服装準備

(7) 地域担当者から一言

七ヶ宿くらし研究所が運営する街道 HOSTEL おたて主催事業を若い感性で盛り上げて下さい。
街道 HOSTEL おたて“山里の夏休み”の運営スタッフとして、参加するご家族・お子さんと一緒に七ヶ宿町の自然に触れ、真剣に遊んで下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 七ヶ宿町	担当部署 ふるさと振興課 企画係
(ふりがな) あんどう ともゆき 担当者氏名 安藤 友幸	TEL: 0224-37-2194 (直通) FAX: 0224-37-2468
E-mail: shichi24@town.shichikashuku.miyagi.jp	
URL: https://town.shichikashuku.miyagi.jp/	
応募宛先 〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下39-2 移住・定住支援センター(株)七ヶ宿くらし研究所 TEL0224-26-6933	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちかしゆくまち
No.- 2 6 : 宮城県七ヶ宿町 (人口 : 1, 3 9 1 人)

1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線・白石蔵王駅から町営バス 50 分

(2) 事業実施の目的等

町民と町外の若者とが一緒に「こと」を造り上げてほしい。
町内に若者のエネルギーをそそいでほしい。
七ヶ宿町の活動を若い人にも知ってもらいたい。

(3) 体験の内容

七ヶ宿自然体験“みんなで稲刈り&田舎体験”運営
開催準備～当日運営サポートスタッフとしての活動

(4) 受入主体

(株)七ヶ宿くらし研究所

(5) 受入期間

9月下旬～10月上旬 約1週間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入先負担 食事代：受入先負担
①要件	町外 20 才以上の大学生及び大学院生等の学生 自然と人が好きな人 3 名程度
②応募締切り	8 月下旬
③宿泊施設	街道 HOSTEL おたて (ドミトリールーム)、七ヶ宿町お試し住宅
④食事形態	町民・主催者スタッフと共同調理
⑤その他	作業服装準備

(7) 地域担当者から一言

移住定住支援センター七ヶ宿くらし研究所が主催する事業を若い感性で盛り上げて下さい。
七ヶ宿町のブランド米“源流米”を昔ながらの手刈り体験会。
参加する町外の家族と一緒に秋の収穫・味覚を体験して下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 七ヶ宿町	担当部署 ふるさと振興課 企画係
(ふりがな) あんどう ともゆき 担当者氏名 安藤 友幸	TEL : 0224-37-2194 (直通) FAX : 0224-37-2468
E-mail : shichi24@town.shichikashuku.miyagi.jp	
URL : https://town.shichikashuku.miyagi.jp/	
応募宛先 〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下 39-2 移住・定住支援センター (株)七ヶ宿くらし研究所 TEL0224-26-6933	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しちかしゆくまち
No.- 2 7 : 宮城県七ヶ宿町 (人口 : 1, 3 9 1 人)

1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線・白石蔵王駅から町営バス 50 分

(2) 事業実施の目的等

町民と町外の若者とが一緒に「こと」を造り上げてほしい。
町内に若者のエネルギーをそそいでほしい。
七ヶ宿町の活動を若い人にも知ってもらいたい。

(3) 体験の内容

「第 3 回七ヶ宿雪かき選手権大会」の運営
「第 34 回七ヶ宿雪だるま・雪像コンテスト」作品制作
開催準備～当日運営サポートスタッフとしての活動

(4) 受入主体

(株) 七ヶ宿くらし研究所

(5) 受入期間

1 月 29 日～2 月 3 日 6 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入先負担 食事代：受入先負担
①要件	町外 20 才以上の大学生及び大学院生等の学生 自然と人が好きな人 3 名程度
②応募締切り	1 月中旬
③宿泊施設	街道 HOSTEL おたて (ドミトリールーム)、七ヶ宿町お試し住宅
④食事形態	町民・主催者スタッフと共同調理
⑤その他	冬の屋外作業服装準備

(7) 地域担当者から一言

移住定住支援センター七ヶ宿くらし研究所が主催する事業を若い感性で盛り上げて下さい。
第 3 回を迎える「雪かき選手権」の運営と第 34 回を迎える「雪だるま・雪像コンテスト」の作品制作を通じ、宮城県一の豪雪地域七ヶ宿町の冬を体験して下さい。

(8) お問合せ先

自治体名 七ヶ宿町	担当部署 ふるさと振興課 企画係
(ふりがな) あんどう ともゆき 担当者氏名 安藤 友幸	TEL : 0224-37-2194 (直通) FAX : 0224-37-2468
E-mail : shichi24@town.shichikashuku.miyagi.jp	
URL : https://town.shichikashuku.miyagi.jp/	
応募宛先 〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下 39-2 移住・定住支援センター (株) 七ヶ宿くらし研究所 TEL0224-26-6933	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-28 : ^{おながわちょう}宮城県女川町 (人口: 6,500人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅 (東北新幹線約 95 分) ⇒ 仙台駅 (JR 仙石線約 90 分 or 仙石東北ライン (約 60 分))
⇒ 石巻駅 (JR 石巻線約 30 分) ⇒ 女川駅

(2) 事業実施の目的等

【NO.1 お試し移住プログラム】

女川町に 5 日～30 日間滞在し、地方のライフスタイルが体験できるプログラム

【NO.2 女川／地方に関わるきっかけプログラム】

地方の課題と可能性を体感し、女川・地方との関わり方を考える 2 日間 (2 泊 3 日)

(3) 体験の内容

【NO.1 お試し移住プログラム】

暮らし方は自由！現地スタッフがサポート。滞在先はシェアハウス。移住意思問わず。

【NO.2 女川／地方に関わるきっかけプログラム】

町で活躍している方インタビュー、魚市場見学、水産加工体験、トレッキング、ワークショップ、クラフトビール店で懇親会など

(4) 受入主体

委託先 NPO 法人アスヘノキボウ

(5) 受入期間

【NO.1 お試し移住プログラム】

通年 (5 日～30 日間)

【NO.2 女川／地方に関わるきっかけプログラム】

年 4 回程度開催

(6) 応募上の注意

※費用負担	費用、要件、お申込みなどは、 HP 『女川で生み出す』: http://onagawa-kikkake.jp/ をご覧ください。
①要件	〃
②応募締切り	〃
③宿泊施設	〃
④食事形態	〃
⑤その他	〃

(7) 地域担当者から一言

「新しいスタートが世界一生まれる町」宮城県女川町には、全国から多くの大学生がお試し移住プログラムなどに参加されています。参加者による「お試し移住リレーブログ」を見ていただければ、その理由が分かります。

HP 『女川で生み出す』: <http://onagawa-kikkake.jp/> をご覧ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宮城県女川町 問合せは NPO 法人アスヘノキボウ	担当部署 産業振興課 公民連携室 問合せは NPO 法人アスヘノキボウ
(ふりがな) どい ひでき 役場担当者 土井 英貴	役場 TEL: 0225-54-3131 (内線 281) NPO 法人アスヘノキボウ TEL: 0225-98-7175
役場 E-mail: koumin1@town.onagawa.lg.jp	
NPO 法人アスヘノキボウ HP 『女川で生み出す』: http://onagawa-kikkake.jp/ のフォームから	
URL 『女川で生み出す』: http://onagawa-kikkake.jp/	
応募宛先 HP 『女川で生み出す』: http://onagawa-kikkake.jp/ のフォームから	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あきたし
No.- 2 9 : 秋田県秋田市 (人口 : 3 0 7 , 9 4 0 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R秋田駅下車 秋田中央交通 県庁市役所前バス停

(2) 事業実施の目的等

・農山村の多様な地域資源を活用した、人的交流の促進など

(3) 体験の内容

・農業体験 (田植え、稲刈り、野菜の植え付け、野菜の収穫など)
・自然体験 (川魚の稚魚放流、魚のつかみ取りなど)
・その他 (陶芸、草木染め、木工、料理、地域フィールドワークなど)

(4) 受入主体

秋田市
株式会社バウハウス(秋田市農山村地域活性化
センター指定管理者)

(5) 受入期間

5月上旬～3月下旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：最大1人1万円の補助有り(見込み) 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要 件	秋田市で市民と一緒に農業、自然、文化体験などを行いたい方
②応募締切り	なし(随時受付中)
③宿泊施設	農家民宿、民間宿泊施設など(いずれも自己負担)
④食事形態	農家民宿では朝食、夕食を提供可能(自己負担) その他は各自(自己負担)
⑤そ の 他	詳しくは、秋田市産業企画課までお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

秋田市で市民と一緒に農業、自然、文化体験を行いたい方を随時募集しておりますので、是非お問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 秋田市	担当部署 産業振興部 産業企画課
(ふりがな) かやの 担当者氏名 榎野	TEL : 018-888-5725 (直通) FAX : 018-888-5723
E-mail : ro-agmn@city.akita.lg.jp	
URL :	
応募宛先 〒010-8560 秋田県秋田市山王一丁目1番1号 秋田市産業振興部 産業企画課 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-30 : 秋田県北秋田市 (人口: 33,224人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- * 大館能代空港: 羽田⇒大館能代着 リムジンバス (市民ふれあいプラザバス停下車) 徒歩3分で市役所
- * JR奥羽本線: 秋田新幹線秋田駅下車 (奥羽本線下り乗換) 鷹ノ巣駅下車 徒歩8分で市役所
- * 秋田内陸縦貫鉄道: 秋田新幹線角館駅下車 (秋田内陸縦貫鉄道乗換) 鷹巣駅下車 徒歩8分で市役所

(2) 事業実施の目的等

通年で希望の時期や体験をオーダーメイドで提供する移住体験事業を実施しています。実際に地方移住をお考えの若い方に、雄大な自然に囲まれた暮らしや地元の人々との交流を通じて田舎暮らしを体感していただき、若者の視点による意見を参考にしたいと思います。

(3) 体験の内容

- ・暮らし体験 (15メニュー) ※農作業、林業、溪流釣り、きのこ狩り、郷土料理調理等
- ・仕事体験 (17メニュー) ※農業、林業、建築、建設、介護、鋳物製造、旅館、スキー場等
- ・教育体験 (2メニュー) ※長期教育留学、あきたリフレッシュ学園 (不登校児)

(4) 受入主体

北秋田市

(5) 受入期間

随時募集 (1泊2日以上)
ただし、先約がある場合は調整いたします

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費+宿泊費+滞在中の食事代の合計に対し、1世帯あたり5万円を上限に助成します。
①要件	現在の居住地が秋田県外 (出身は問わない) で地方移住をお考えで本市に興味のある方。20歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
②応募締切り	体験を希望する初日の15日前までに参加申込みを完了してください。ただし、先約がある場合は調整いたします。
③宿泊施設	①移住定住ネットワークセンター (個室6室、ほか障がい者対応あり) ②市内ホテル・旅館 ※いずれかを選択
④食事形態	希望に沿った体験プログラムを事前に作成しますので、プログラム掲載の昼食や夕食はアテンドしますが、それ以外の朝食等は宿泊先が提供するものとなります。(ただし、上記①は自炊となりますので食材の持込が必要です。)
⑤その他	選択された体験に合った服装や装備をご用意ください。当方でご提示いたします。

(7) 地域担当者から一言

マタギ発祥の地、日本三大樹氷鑑賞地の森吉山、日本の滝百選第2位の安の滝はじめ多くの瀑布や溪流などワイルドかつダイナミックな自然が売りです。市街地から車で10分程度のところに羽田空港と直結する大館能代空港があり首都圏からのアクセス至便。観光面はまだ未発達ですので、現地の人間では気づかないような活躍の場があるはずです。地方移住にご興味のある若い方が北秋田市に移住し、新たな発想や視点による活躍を期待しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北秋田市	担当部署 総務部総合政策課移住・定住支援室
(ふりがな) すずき よしひと 担当者氏名 鈴木 祥仁	TEL: 0186-62-8002 (直通) FAX: 0186-63-2586
E-mail: iju@city.kitaakita.akita.jp	
URL: http://www.city.kitaakita.akita.jp/	
応募宛先 〒018-3392 北秋田市花園町19-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-31 : 山形県鶴岡市 (人口: 127,736人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【電車】JR羽越本線 鶴岡駅下車、路線バスで約40分
【夜行高速バス】庄内交通 渋谷線/新宿線/京都・大阪線 エスモールバスターミナル下車、
路線バスで約40分
【車】山形自動車道 庄内あさひICより15分

(2) 事業実施の目的等

大学生や青年の能楽サークル、能楽研究会の合宿を誘致し、能楽を通して地元青年との交流を図る。

能楽の練習会場は「黒川能伝習館」の常設能舞台を利用し、宿泊には農家民宿と連携する等、地域資源の利活用を促進する。

(3) 体験の内容

- ・常設能舞台を使用した稽古合宿
- ・地元若手能役者との交流会
- ・地元で所有している能面、装束の鑑賞

(4) 受入主体

公益財団法人 黒川能保存会

(5) 受入期間

7~9月 (※要事前相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 (※農家民宿をご利用の場合は、一部助成あり) 食事代：自己負担
①要件	大学等の能楽サークルや研究会等、日々能楽の稽古に励んでいる方。 SNS等により能楽合宿や「黒川能」について情報発信してくれる方。
②応募締切り	実施日の2ヶ月前。(※事前に電話、メールにて黒川能保存会へご連絡ください。)
③宿泊施設	農家民宿 (農家民宿以外をご利用される方は各自)
④食事形態	農家民宿では朝・夕食を提供 (昼食は各自。斡旋可能)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

鶴岡市黒川地区に伝わる「黒川能」は、春日神社の神事能として、500年以上にわたり氏子である農民たちの手によって受け継がれ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

黒川能の里で能楽を志す者同士交流を深め、ぜひ鶴岡の伝統文化、食文化に触れてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山形県鶴岡市	担当部署 櫛引庁舎総務企画課
(ふりがな) やすの ちえこ 担当者氏名 安野 智恵子	TEL: 0235-57-2111 (内線 218) FAX: 0235-57-2117
E-mail: ku-somu@city.tsuruoka.yamagata.jp	
URL: http://www.city.tsuruoka.lg.jp	
応募宛先 〒997-0311 山形県鶴岡市黒川字宮の下 253 番地 公益財団法人 黒川能保存会 TEL: 0235-57-5310 FAX: 0235-57-5311 E-mail: master@kurokawanoh.com	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 2 : 福^{きたかたし}島県喜多方市 (人口 : 4 7, 0 6 4 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R磐越西線 喜多方駅から徒歩 1 5 分

(2) 事業実施の目的等

市外在住で農業や農村地域に関心のある方を対象として、ありのままの農家生活を体験することで心身のリフレッシュ等を行う。また、農村への滞在や農業体験を通して、市の伝統・文化や生活環境等を理解していただく機会を創出する。

(3) 体験の内容

【喜多方ワーキングホリデー】
農家民泊及び農業体験
農業体験は、季節や希望により体験内容を決定

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

原則として2泊3日以上1週間以内

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：原則負担なし 食事代：原則負担なし
①要件	農作業に真面目に取り組める方
②応募締切り	随時受付。詳細はホームページをご覧ください。
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	受入農家から提供
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

蔵とラーメンのまち喜多方で、ありのままの農家生活を体験してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県喜多方市	担当部署 産業部 農山村振興課 地域振興対策室
(ふりがな) たなか ゆうた 担当者氏名 田中 優多	TEL : 0241-24-5234 (直通) FAX : 0241-25-7073
E-mail : nousan@city.kitakata.fukushima.jp	
URL : http://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/	
応募宛先 〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東 7244-2 産業部農山村振興課地域振興対策室	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 3 : 福^{きたかたし}島^{きたかたし}県喜^{きたかたし}多^{きたかたし}方^{きたかたし}市 (人口 : 4 7 , 0 6 4 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R磐越西線 喜多方駅から徒歩 15 分

(2) 事業実施の目的等

農業や就農に興味のある方に実際に、地域に“来て”“見て”“触れて”ほしい

(3) 体験の内容

【来て見て触れて。きたかた農業研修・生活体験】
 ○はじめての喜多方体験コース（仮称）
 喜多方での就農や定住をお考えの方に対し、2泊3日の行程で夏秋野菜の管理収穫作業や農村生活を体験していただくコース
 ○みっちり喜多方農業研修コース
 喜多方市において本気で就農をお考えの方に対し、4月～11月の農繁期中に希望する作物にあわせ、2泊3日以上1週間程度の短期研修をしていただくコース

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

○はじめての喜多方体験コース
 7月下旬ごろ
 ○みっちり喜多方農業研修コース
 4月～11月

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：上限ありで支給 宿泊費：無料 食事代：一部自己負担
①要件	喜多方市への就農や定住を考えている方
②応募締切り	別途ホームページよりお申し込みください
③宿泊施設	農家民宿
④食事形態	農家民宿では朝・夕を提供（昼食は自己負担）
⑤その他	作業ができる服装を用意してください

(7) 地域担当者から一言

蔵のまち、ラーメンのまち、喜多方は農業のまち。
 ラーメンの香る喜多方で、キュウリ・アスパラガス・ミニトマトを作ってみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県喜多方市	担当部署 産業部農業振興課経営企画係
(ふりがな) えんどう けんじ 担当者氏名 遠藤 健治	TEL : 0241-24-5277 (直通) FAX : 0241-25-7073
E-mail : noushin@city.kitakata.fukushima.jp	
URL : http://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/	
応募宛先 〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東 7244-2 喜多方市産業部農業振興課経営企画係	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みなみそうまし
No.- 3 4 : 福島県南相馬市 (人口 : 5 4, 5 7 6 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R常磐線 原ノ町駅下車 徒歩5分 (みなみそうま復興大学シェアオフィス)

(2) 事業実施の目的等

地域に思いのある住民・企業・団体等の地域の主体と大学等外部の復興支援に思いのある人たちが、お互いの活動を知りあうことにより、地域における具体的な活動を共有し、まちづくり・ひとづくりを通じた「地域力」の向上を目指すもの。

(3) 体験の内容

【みなみそうま復興大学】

- ①大学主体での地元での活動：フィールドワーク、ゼミ合宿、復興まち・ひとづくりに係る調査・研究活動等
- ②大学と市民活動との協働：市民講座等の開催、交流イベント等の開催

(4) 受入主体

南相馬市

(5) 受入期間

年末年始 (12月29日～1月3日) を除き、いつでも利用可能

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：3,000円/泊 補助 食事代：自己負担
①要件	市内において調査・研究等を行う大学の学生及び教職員等
②応募締切り	利用開始予定日の2週間前までに申請書をEメール又はFAXで提出
③宿泊施設	みなみそうま復興大学宿泊施設 (南相馬旅館ホテル組合、農家民宿かあちゃんのに加盟する宿泊施設)
④食事形態	
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

多くの若者に、東日本大震災を経験した南相馬市全域をキャンパスとして活動いただき、地域と大学等との交流をとおして、まちづくりやひとづくりを核とする総合的・包括的な地域力の向上・復興を目指す大いなる学びの場として役立てていただければ幸いです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 南相馬市	担当部署 復興企画部 企画課 復興推進係
(ふりがな) はやま ゆうさく 担当者氏名 羽山 勇作	TEL : 0244-23-5511 (直通) FAX : 0244-23-5511
E-mail : fukkoudaigaku@city.minamisoma.lg.jp	
URL : https://www.city.minamisoma.lg.jp/attraction/experience/university/index.html	
応募宛先 〒975-0004 福島県南相馬市原町区旭町一丁目8番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-35 : 茨城県ほこたし銚田市 (人口: 49,084人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

最寄駅: 鹿島臨海鉄道 新銚田駅 (東京駅より約3時間)
高速バス: 東関東高速バス・麻生銚田線 (東京駅より約3時間)

(2) 事業実施の目的等

銚田市「若者が誇りを持つまち」HOKOTA プロジェクトの一環として、若者が地元高校生や市内事業者と連携してフィールドワークや事業提案などを行い、銚田市の魅力や地域資源を再発見する。それら地域資源を使ってチャレンジしたいと思える若者を増やすことで、首都圏から関係人口増加への契機とする。

(3) 体験の内容

- 1) 地元高校生と交流を深めながら、市内各事業者 (商工業・農業 など) や定番スポットへのフィールドワーク。
- 2) フィールドワークで得た情報をもとに、若者自らが取り組みたい企画を市内関係者に発表し、産学官民連携事業に結びつける「まちづくりコンテスト」の実施。

(4) 受入主体

銚田市

(5) 受入期間

応募開催時に詳細を公表します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 補助あり 宿泊費: 補助あり 食事代: 自己負担
①要件	・地域社会の暮らしに関心がある学生 ・プロジェクト参加後の取材記事作成及び公表ができる学生
②応募締切り	応募開催時に詳細を公表します。
③宿泊施設	応募開催時に詳細を公表します。
④食事形態	応募開催時に詳細を公表します。
⑤その他	応募開催時に詳細を公表します。

(7) 地域担当者から一言

2湖1海に囲まれ自然豊かな銚田市は野菜全体の生産額が全国1位。まだまだ伸びしろがある全国トップクラスの農業王国で自分のやりたいことに一緒にチャレンジしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 銚田市	担当部署 総務部 まちづくり推進課 総合戦略係
(ふりがな) とよしま・なるしま 担当者氏名 豊島・成島	TEL: 0291-36-7154 (直通) FAX: 0291-32-4622
E-mail: hokomail-c10x@city.hokota.lg.jp	
URL: http://www.city.hokota.lg.jp/	
応募宛先 〒311-1592 茨城県銚田市銚田1444-1 銚田市 総務部 まちづくり推進 総合戦略係 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-36 : ^{いばらきまち}茨城県茨城町 (人口: 33,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

公共交通機関: 水戸駅下車 タクシー利用 水戸駅から約20分
車: 北関東自動車道・東水戸道路 水戸南ICから約10分

(2) 事業実施の目的等

ラムサール条約に登録された汽水湖「涸沼(ひぬま)」の豊かな自然環境や静かな田園風景の中で、農家民泊や農漁業体験などを体験してもらい、茨城町の魅力を知ってもらうとともに、地域の活性化や交流・関係人口の拡大を図る。

(3) 体験の内容

①農業体験: 野菜や果物の収穫体験, 保存食作り体験など。
②漁業体験: イカダ乗り体験, 伝統漁業体験・見学など。
③郷土文化体験: お雛子体験, 花巻寿司作り, マイ箸造り, 組子細工作りなど。
※体験メニューには, 最少催行人数がございます。

(4) 受入主体

ひろうら田舎暮らし体験推進協議会

(5) 受入期間

通 年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担(滞在中の移動は, 御用意いたします。) 農家民泊体験料: 1泊2食付き 小学生まで6,000円, 中学生以上7,000円 食事代: 農家民泊体験料に含みます。 ※各体験料は別途
①要 件	小学生以上の学生など
②応募締切り	通年(詳細につきましては, お問い合わせください)
③宿泊施設	一般家庭での民泊(民泊新法に適應した家庭もございます。)
④食事形態	①民泊される場合は, 受入家庭の家族と一緒に調理していただきます。 ②農漁業体験では, 採れた野菜や魚を調理していただくことも可能です。
⑤その他	相部屋(2人から4人程度)での宿泊が基本となります。

(7) 地域担当者から一言

茨城町の地方体験交流は, 他地域で実施している農業体験に加え, 汽水湖「涸沼」を活かした漁業体験, 郷土料理や文化を取り入れた郷土文化体験を用意しております。
これまでもゼミや実践教育演習等で, 多くの大学生や院生に御利用いただいておりますので, 皆様のお越しをお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 茨城県 東茨城郡 茨城町	担当部署 生活経済部 農業政策課 農業企画グループ
(ふりがな) ぐんじ たかのり 担当者氏名 郡司 孝紀	TEL: 029-240-7118 (直通) FAX: 029-240-7149 (直通)
E-mail: nousei2@town.ibaraki.lg.jp	
URL: http://www.town.ibaraki.lg.jp	
応募宛先 〒311-3125 茨城県東茨城郡茨城町大字下石崎1560番地16 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 事務局 URL: http://hiroura.jp/ E-mail: info@hiroura.jp TEL: 090-9646-9775 Facebook: https://www.facebook.com/hirourainakagurashi/	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あしかがし
No.- 3 7 : 栃木県足利市 (人口: 145,868人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線 足利駅 徒歩0分
 (足利駅構内 あしかが移住・定住相談センター 4/26 開設)

(2) 事業実施の目的等

地方都市の人口減少が進む中、本市の関係人口を増やすことで、将来的な移住・定住に結びつきたい。

(3) 体験の内容

- ・地域イベントの運営サポート
- ・市内企業でのしごと体験
- ・映像のまち構想に関連した事業サポート
- ・観光客へのおもてなし
- ・あしかが移住・定住相談センターの業務サポート 等

(4) 受入主体

足利市 (あしかが移住・定住相談センター)

(5) 受入期間

2019年4月26日以降、随時申込み受け入れ期間は従事するものにより応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：ご負担いただきます 宿泊費：ご負担いただきます 食事代：ご負担いただきます ※参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いいたします。
①要件	18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方
②応募締切り	※2019年4月26日以降、随時申込み受付
③宿泊施設	市内の宿泊施設をご紹介します
④食事形態	各自
⑤その他	動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

歴史と文化の薫るまちで若い皆さんのフレッシュなパワーをまちづくりに活かしてみませんか

(8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県足利市	担当部署 総合政策部 企画政策課 地方創生担当
(ふりがな) わたなべ まさゆき 担当者氏名 渡邊 正行	TEL : 0284-20-2104 (直通) FAX : 0284-21-1384
E-mail : kikaku@city.ashikaga.lg.jp	
URL : http://www.kararikoturn.com	
応募宛先 〒326-8601 栃木県足利市本城3丁目2145	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おやまし
No.-38 : 栃木県小山市 (人口: 167,659人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR宇都宮線・東北新幹線 小山駅下車 徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

市の伝統産業であり、国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録された「本場結城紬」の生産振興のため、「本場結城紬」の情報発信を行う。

(3) 体験の内容

本場結城紬の地機じぼたを使用したコースター織り体験
本場結城紬着心地体験

(4) 受入主体

おやま本場結城紬クラフト館
栃木県小山市中央町3-7-1 ロブレビル1F

(5) 受入期間

【コースター織り体験】毎月第3日曜日
【着心地体験】毎週火曜～日曜(7、8月除く)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
① 要件	【コースター織り体験】小学生3年生以上対象
② 応募締切り	一週間前までにおやま本場結城紬クラフト館に直接申込み TEL: 0285-32-6477
③ 宿泊施設	未定
④ 食事形態	未定
⑤ その他	【コースター織り体験】1,000円 一度に最大2名まで 【着心地体験】2,500円

(7) 地域担当者から一言

世界に認められた小山市の伝統工芸品「本場結城紬」の素晴らしさを実感してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県小山市	担当部署 産業観光部工業振興課結城紬振興係
(ふりがな) すずき みき 担当者氏名 鈴木 美紀	TEL: 0285-22-9397 (直通) FAX: 0285-22-9685
E-mail: d-kougyo@city.oyama.tochigi.jp	
URL: http://www.city.tochigi.jp/soshiki/42/368.html	
応募宛先 〒323-0023 栃木県小山市中央町3-7-1 ロブレビル1F おやま本場結城紬クラフト館 (TEL: 0285-32-6477)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

な す から す や ま し
No.- 3 9 : 栃木県那須烏山市 (人口 : 2 6, 6 5 4 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

役所庁舎まで) JR 烏山線・烏山駅下車 徒歩 10 分

(2) 事業実施の目的等

地方移住に興味がある方が那須烏山市と関わるきっかけづくり
那須烏山市での活動人口を増やす

(3) 体験の内容

地域で行う事業への参加・協力

(4) 受入主体

那須烏山市及び地域団体

(5) 受入期間

6 月上旬～ 7 月中旬
2 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要 件	地方移住に興味があり、まずは現地をよく知りたいと考えている方
②応募締切り	各回によります
③宿泊施設	民宿等（キャンプや共同生活）
④食事形態	自炊・共同調理・近隣の飲食店にて（費用は自己負担）
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

地方に興味がある・移住したいといってもすぐにできるわけではありません。地域と人がマッチングすることが重要です。まずは自ら地域を体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 那須烏山市	担当部署 まちづくり課 定住推進グループ
(ふりがな) さとう あつし 担当者氏名 佐藤 篤	TEL : 0287-83-1151 (直通) FAX : 0287-83-1142
E-mail : machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp	
URL : http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp	
応募宛先 〒321-0624 栃木県那須烏山市中央 1-1-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おがのまち

No.-40 : 埼玉県小鹿野町 (人口: 11,685人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

西武線「西武秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで35分 「小鹿野町役場」バス停
秩父鉄道「秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで28分 「小鹿野町役場」バス停

(2) 事業実施の目的等

下記体験を通して、学生の皆さんにとっての可能性をどんどん拡げてほしい。

- ・田舎文化を気軽に味わう、『田舎生活体験』
- ・地元住民や学生等と一緒に地域課題に取り組む、『地域おこし体験』
- ・町の資源を活用した、『研究・フィールドワーク』

(3) 体験の内容

以下を盛り込みながら、ご要望に合わせ、私たちが体験ツアーを企画提案させていただきます。

- ・農業体験 (季節の野菜収穫・田植え・関東最大級ダリア園の整備作業・農家との交流)
- ・自然体験 (里山散策・川遊び・沢登り・ロッククライミング・化石発掘)
- ・地域イベント (季節ごとの祭など) の見学・参加・協力
- ・研究・フィールドワーク、ゼミ活動 (歴史文化、教育学部、地域創生学部、経済学部)
- ・その他、地域おこし活動 (特産品の開発・マップ作り・観光名所のライトアップ)

(4) 受入主体

埼玉県秩父郡小鹿野町

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 (※西武秩父駅までの送迎は応相談) 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
① 要件	田舎暮らしや、地域おこしに興味のある方どなたでも
② 応募締切り	随時受付 (※随時、応相談)
③ 宿泊施設	町内の旅館、またはゲストハウス
④ 食事形態	基本、旅館は、夕・朝食。ゲストハウスは、朝食 (※要相談)
⑤ その他	「こんなことできませんか？」といった逆提案も大歓迎です!!

(7) 地域担当者から一言

小鹿野町は、東京から100km圏内にありながら、里山の雰囲気を残しつつ、歌舞伎などの伝統芸能も継承されている個性豊かな町です。ぜひ一度、遊びにいらしてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小鹿野町役場	担当部署 総合政策課 地域おこし協力隊
(ふりがな) もと なよこ 担当者氏名 本 奈代子	TEL : 0494-75-1238 (直通) FAX : 0494-75-2819
E-mail : motonayo@town.ogano.lg.jp	
URL : https://www.town.ogano.lg.jp/	
応募宛先 〒368-0192 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-4 1 : ^{そうさし}千葉県**匝瑳市** (人口: 36,642人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR総武本線 八日市場駅下車 徒歩約20分 (タクシー約5分、市内循環バス約5分)

(2) 事業実施の目的等

匝瑳市最大の祭りである八重垣神社祇園祭に、大学生等が準備・運営等を含めて参加することにより、地域住民とのふれあいを通じた地域コミュニティの活性化及び匝瑳市の魅力発信を図る。

(3) 体験の内容

八重垣神社祇園祭への参加と協力

(4) 受入主体

匝瑳市観光協会

(5) 受入期間

7月24日(水) ~ 8月8日(木)
16日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 (民泊の場合は無料) 食事代: 自己負担 (民泊の場合は無料)
①要件	地域イベントや地域コミュニティに関心がある大学生及び大学院生
②応募締切り	7月1日(月)までに、担当者あて御連絡ください (TEL、FAX、E-mail)
③宿泊施設	民泊、民宿等
④食事形態	民泊では朝・昼・夕を提供 民宿等では自己負担
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

お囃子と神輿、沿道からの水かけが一体となった「見てよし、参加してよし」の八重垣神社祇園祭を、地区の一員となって準備から運営、片付けまで満喫しませんか!

(8) お問合せ先

自治体名 千葉県匝瑳市	担当部署 産業振興課 商工観光室 商工観光班
(ふりがな) こいずみ やすたか 担当者氏名 小泉 泰孝	TEL: 0479-73-0089 (直通) FAX: 0479-72-1117
E-mail: s-shoko@city.sosa.lg.jp	
URL: http://www.city.sosa.lg.jp/	
応募宛先 〒289-2198 千葉県匝瑳市八日市場ハ793番地2 匝瑳市役所 産業振興課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながおかし

No.- 4 2 : 新潟県長岡市 (人口: 271,011人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

長岡駅(東京から新幹線で1時間30分、車で2時間30分(245km))

(2) 事業実施の目的等

大学生から、人と人が支え合う中山間地域の生活と、中越地震の被災から復興までの経験を
知っていただくことで、様々な価値観があることに気づいてもらうことを目的としています。

※中越地震被災地である長岡市の中山間地域(小国、栃尾、川口、山古志、太田・東山地域)を中心に実施します。

(3) 体験の内容

研究室・ゼミ・サークル・個人・グループ等、大学・学生の皆さまの様々な活動と中山間地域
での滞在を、ご意向に沿う形でマッチングいたします。

中越地震の震央である川口地域にある「古民家」を滞在拠点とし、以下のような地域資源を活
かして、記憶に残る体験を提供します。

* 古民家周辺施設…体育館・野球場・多目的グラウンド・テニスコート・ゲートボール場・ピクニック広場・
温泉・道の駅

* 自然・災害関連のみどころ・学びどころ

中越メモリアル回廊(震災伝承施設・震災遺構)

砂防堰堤・ダムなどのインフラ(ヒトが自然の中で生きるための、用・強・美を兼ね備えた建造物)

罹災者住宅(地域の材木を用い、雪国の暮らしに必要なコミュニティを損なわない新しい形の住宅)

棚田(傾斜地での暮らしにおける重要な食料生産の場及び地すべりを治めるインフラ)

(4) 受入主体

公益財団法人 山の暮らし再生機構
※中越大震災により被災した中山間地域の復興のため
に、長岡市の出捐により設立された団体です。

(5) 受入期間

通年(応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	自己負担: 現地までの交通費、傷害保険料 宿泊費、食事代、研修費、滞在中の移動等 (下線は1泊2日で10,000~15,000円が目安ですが、ご相談ください)
①要件	・地域に迷惑をかけず、楽しく真面目に滞在出来る方 ・体験終了後に簡単なアンケートにご協力頂ける方
②応募締切り	希望日の1ヶ月前まで
③宿泊施設	古民家(ご希望があれば別途宿泊施設もご紹介出来ます。)
④食事形態	古民家での地元食材による料理提供または自炊、地域弁当の手配も可(自己負担)
⑤その他	まずはお気軽にお問い合わせ下さい。 大人数にも対応しておりますが、早めにお申込みを頂けるとありがたいです。

(7) 地域担当者から一言

平成16年10月23日に発生した中越地震によって壊滅的な被害を受けた中山間地域は、コ
ミュニティー再生に重点を置いた住民主体の復興の取り組みによって、震災以前の姿を取り戻
したように見えます。しかし一方では、次世代を担う若い人たちへの震災以前の記憶の継承が危
ぶまれています。

私たちは、「山の暮らし」には現代社会が忘れかけている自然観や人と人との支え合いがある
ことを、地域支援活動を通じて学びました。この暮らしが脈々と続いてきたからこそ、震災を
乗り越えることが出来たといっても過言ではありません。

次世代を担う学生の皆さん、農的な暮らしの社会的価値や自然と人の関わりについて、現場で
感じてみませんか。自然に寄り添いながら過ごす時間をオーダーメイドでサポートさせていた
だきます。

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(8) お問い合わせ先

自治体名 長岡市役所	担当部署 地域振興戦略部 地域振興班
(ふりがな) かきもと 担当者氏名 柿本	TEL : 0258-39-2260 FAX : 0258-39-2254
E-mail : gnagaoka@city.nagaoka.lg.jp	
URL :	
応募宛先 公益財団法人 山の暮らし再生機構 [担当: 臼井 (うすい)] 〒940-0062 新潟県長岡市大手通1-4-11 水野ビル3階 TEL : 0258-30-1213 FAX : 0258-30-1205 E-mail : info@yamanokurashi.jp 財団 HP : http://www.yamanokurashi.jp やまのがっこうプロジェクト HP : https://yamanogakko.com	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-43 : 新潟県新発田市 (人口: 97,796人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東京駅⇒(上越新幹線)⇒新潟駅⇒(白新線)⇒新発田駅 最短 130 分程度
自家用車 練馬 IC⇒関越自動車道・日本海東北自動車道⇒聖籠・新発田 IC 326.8K 220 分程度

(2) 事業実施の目的等

【新発田市移住体験ツアー】

参加者には、地元の人たちとの交流を通じ、地域をじっくり見て、じっくり聞いて、地域で生活することをイメージしてもらいたい。

(3) 体験の内容

毎回ともテーマを設けて農作業体験・そば打ち・和菓子作りなどのほか、冬の時期にはかんじき作りなどを実施しています。また、地域の人たちと一緒に散策をしたり、郷土料理を食べたり、地域の空き家を改装した施設で宿泊してもらったりと新発田の魅力を満喫できるものとなっております。

(4) 受入主体

新発田市

(5) 受入期間

平成 31 年度は 1 泊 2 日の移住体験ツアーを 3 回程度予定。(開催時期については市 HP 等でお知らせします。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	各回参加費 5,000 円 (集合場所までの交通費は自己負担となります。)
① 要件	地域への移住に興味がある方ならだれでも OK
② 応募締切り	各回開催日の 1 週間ほど前
③ 宿泊施設	短期滞在施設「新縁」(新発田市米倉地域)
④ 食事形態	受入地域で提供 (参加費に食費を含む)
⑤ その他	・防寒着、長靴、寝間着、着替え、タオル、歯ブラシ等の洗面用具、保険証などを準備してください。(各回で別途連絡します。)

(7) 地域担当者から一言

～田舎で自分らしく生きるライフスタイルを覗いてみよう～
当ツアーはしばたで暮らす『人』『自然』『食』など、田舎のライフスタイルを覗く移住体験ツアーです。
城下町の風情を残しながら、広がる田園風景、豊かな自然と熱い人との交流です。興味のある方はまずお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新発田市	担当部署 みらい創造課 定住促進・婚活応援室
(ふりがな) ほその・たけまえ 担当者氏名 細野・竹前	TEL : 0254-28-9531 (直通) FAX : 0254-22-3110
E-mail : teijyu@city.shibata.lg.jp	
URL : https://www.city.shibata.lg.jp	
応募宛先 〒957-8686 新潟県新発田市中心街 3-3-3	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 4 : ^{いといがわし} 新潟県糸魚川市 (人口: 42,930人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

北陸新幹線 JR糸魚川駅 下車 (東京から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

県外出身の若者から糸魚川市内でのインターンシップ(地域行事、暮らし、就業、地域の方との交流等の体験)を通して、糸魚川の魅力に触れ、理解を深め、移住定住につなげたい。

(3) 体験の内容

■農業体験(6~10月) ■養鶏・酪農・畜産体験(6~2月) ■林業体験(6~11月)
■漁業体験(6~9月) ■手づくり作家体験(6~2月) ■わら細工体験(10~12月)
■農家レストラン体験(6~2月) ■温泉旅館・ホテル・スキー場スタッフ体験(6~2月)
■新潟インターンシップ参加企業体験(6~2月)
■その他、実施時期に応じた地域行事参加 など

(4) 受入主体

糸魚川市

(5) 受入期間

6月~2月
1週間以上 1か月以内

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費・食費・生活用品等: 実費負担 宿泊費: 不要
①要件	次の要件すべてに該当する方 ■新潟県外の方でIターン・Uターンを検討している大学生や若者 ■人と話すことが好きな方 ■自然(海と山)が好きで、自然が身近にある生活がしたい方 ■やる気があり、何事にも前向きに目標を定めて進める方 ■自動車を運転できる方 ■SNSを利用した情報発信ができる方
②応募締切り	実施希望日の概ね1か月前まで
③宿泊施設	活動の拠点となる地域内の民宿又はゲストハウス、受入れ先が用意する住居に滞在いただきます。参加者同士の共同生活になる場合もあります。
④食事形態	基本的には自炊ですが、応相談です。(自己負担)
⑤その他	詳しくは、糸魚川市ホームページ内「糸魚川で暮らす働く応援プロジェクト」を検索し、ご確認ください。

(7) 地域担当者から一言

有意義なインターンシップとなるよう、農業者、漁業者や地域団体等と調整しながら、柔軟にメニューを構築します。就業体験と糸魚川暮らし体験の両方をバランスよく楽しく体験していただければと考えています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 糸魚川市	担当部署 総務部 企画定住課
(ふりがな) せきざわ さいとう しらさわ おんだ 担当者氏名 関澤、斉藤、白澤、遠田	TEL: 025-552-1511 (内線 2426) FAX: 025-552-8955
E-mail: kikaku@city.itoigawa.lg.jp	
URL: http://www.city.itoigawa.lg.jp/6868.htm	
応募宛先 〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1-2-5	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 5 : ^{じょうえつし}新潟県上越市 (人口: 193, 103人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

北越急行 ほくほく線 虫川大杉駅から車で最大 60 分程度

(最寄駅までの経路)

- ・北陸新幹線 東京駅～上越妙高駅、えちごトキめき鉄道 上越妙高駅～直江津駅、北越急行ほくほく線 直江津駅～虫川大杉駅 (約 3 時間 10 分)
- ・上越新幹線 東京駅～越後湯沢駅、北越急行ほくほく線 越後湯沢駅～虫川大杉駅 (約 2 時間 40 分)

(2) 事業実施の目的等

上越市の海・山・大地の豊かな自然の中で、農村の生活を体験いただき、地域で暮らす人々とふれあい、「ほんもの体験」を提供します。自然や人とのつながりの大切さを、様々な体験・交流を通して、肌や心で感じてもらえるような体験の提供を目的としています。

(3) 体験の内容

- ・田植え、稲刈り、畑作業体験
- ・工芸、食体験
- ・民泊 (ホームステイ)
- ・農村生活体験、雪国体験 など

(4) 受入主体

越後田舎体験推進協議会

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：実費負担 宿泊費：実費負担 食事代：実費負担
①要件	民泊 (ホームステイ) を希望される場合は学生に限ります。
②応募締切り	随時
③宿泊施設	民泊家庭、旅館、ホテル
④食事形態	行程による
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

受入開始から 20 年を超える老舗着地型観光です。教育旅行や大学の研修旅行、企業研修はもちろんのこと一般の方もお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 産業観光部 観光振興課 振興係
(ふりがな) ひらばやし ともひさ 担当者氏名 平林 朋久	TEL : 025-526-5111 (内線 1386) FAX : 025-526-6113
E-mail : kanko-shinko@city.joetsu.lg.jp	
URL : http://www.echigo-inakataiken.jp/	
応募宛先 〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚 722-3 越後田舎体験推進協議会 事務局 (公益財団法人雪だるま財団) TEL : 025-592-3988 FAX : 025-592-3324	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-46 : ^{じょうえつし} **新潟県上越市** (人口: 193, 103人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

えちごトキめき鉄道 春日山駅から上越市役所まで徒歩1分

(最寄駅までの経路)

- ・北陸新幹線 東京駅～上越妙高駅 (約1時間50分)
- ・上越新幹線 東京駅～越後湯沢駅、ほくほく線 越後湯沢駅～直江津駅 (約3時間)

(2) 事業実施の目的等

上越市に訪れてもらいたい。
上越市の農業の担い手となる人を増やしたい。

(3) 体験の内容

農業体験 (水稻: 耕うん・代掻き・田植え・稲刈り)
(園芸: 剪定・収穫・選別・箱詰め)
(果樹: 剪定・収穫・棚補修)

(4) 受入主体

市内の農家・農業法人

(5) 受入期間

通年 2泊3日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 1/2 補助 (上限1泊5,000円) 食事代: 農家負担 (2日目・3日目のみ) レンタカー使用料: 定額 (最大16,000円) 保険料: 市負担
①要件	農業に興味のある方 (新規就農希望者等)
②応募締切り	実施日の3週間前まで (目安) 体験したい分野・受入先農家などを相談するため早めにご連絡ください。
③宿泊施設	市内宿泊施設
④食事形態	受け入れ農家で用意 (※要相談)
⑤その他	※補助は市外在住の満50歳未満 (中山間地域において実施する場合は満61歳未満)の方が対象

(7) 地域担当者から一言

農業に興味のある方にどんな作業があるのか体験してもらい、上越市がどんなところなのか知ってもらえる機会として使っていただきたいです。ぜひお気軽にご活用ください。

(8) お問合せ先

自治体名 上越市	担当部署 農林水産部 農政課 担い手育成係
(ふりがな) まるた まゆみ	TEL: 025-526-5111(内線1287)
担当者氏名 丸田 真由美	FAX: 025-526-6114
E-mail: nousei@city.joetsu.lg.jp	
URL: https://www.city.joetsu.niigata.jp/	
応募宛先 〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号 農政課担い手育成係 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 7 : ^{じょうえつし} 新潟県上越市 (人口: 193, 103人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

北陸新幹線 上越妙高駅

(最寄駅までの経路)

- ・北陸新幹線 東京駅～上越妙高駅 (約1時間50分)
- ・上越新幹線 東京駅～越後湯沢駅、ほくほく線 越後湯沢駅～直江津駅 (約3時間)

(2) 事業実施の目的等

地方暮らしを考えている方と移住を希望している集落とのニーズをマッチングさせ、移住定住を推進するものです。

(3) 体験の内容

参加者の希望に合わせて行程調整するオーダーメイド型のツアーです。例えば、農作業体験(稲架づくり、稲刈り、そばの刈取りなど)、集落案内(町内会長や移住者との談話、空き家見学、小売店紹介など)、雪国体験(雪かき、雪掘り、スノートレッキングなど)などがあります。

(4) 受入主体

上越市(移住者の受入れを希望する集落など)

(5) 受入期間

通年(最大2泊3日) ※年末年始を除く

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(宿泊費補助: 1/2(上限5,000円/泊)) 市内の移動費: 自己負担(レンタカー使用料補助: 1/2(上限4,000円/日)) 食事代: 自己負担
① 要件	県外に在住し、当市への移住をお考えの方
② 応募締切り	参加希望日の20日前
③ 宿泊施設	原則、体験地周辺の施設
④ 食事形態	行程による
⑤ その他	1日1組(1組4名)まで

(7) 地域担当者から一言

オーダーメイド型の移住体験ツアーです。あなただけの移住体験をしてみませんか。

(8) お問合せ先

自治体名 上越市	担当部署 自治・市民環境部 自治・地域振興課
(ふりがな) たかはし しょうご 担当者氏名 高橋 星伍	TEL: 025-526-5111 (内線 1431) FAX: 025-526-6114
E-mail: jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp	
URL: https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/	
応募宛先 〒943-8601 新潟県上越市木田 1-1-3 上越市役所 自治・地域振興課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

くろべし
No.- 4 8 : 富山県黒部市 (人口 : 4 1, 4 2 1 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新幹線 : 北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅から車で 10 分 あいの風鉄道 : 黒部駅から車で 25 分 富山地方鉄道 : 愛本駅から車で 2 分
--

(2) 事業実施の目的等

自然豊かな里山で田舎暮らしを体験してもらい、その体験を情報発信してほしい。 田舎暮らし体験について、若い方々の意見を聞きたい。
--

(3) 体験の内容

豪農古民家での生活体験、干し柿作り、かまど炊飯体験、里山まちあるき、 地域住民との交流会

(4) 受入主体

愛本ひばり野交流会

(5) 受入期間

10月26日(土) ~ 10月27日(日) 2日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 各自負担 宿泊費、食事代あわせて参加費として 1 人 5,000 円
①要 件	3 大都市圏居住の大学生で、人とのふれあいが好きな方
②応募締切り	10 月 20 日
③宿泊施設	黒部市農村文化伝承館 山本家
④食事形態	10 月 26 日夕食、10 月 27 日朝食、昼食 すべて受入団体と一緒に自炊
⑤そ の 他	動きやすい服装

(7) 地域担当者から一言

農村文化伝承館 山本家は、一度泊まってみればその良さが実感できます。 のんびり流れる里山の時間を感じてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 黒部市	担当部署 総務企画部 企画政策課 移住・定住担当
(ふりがな) かみしま はるか 担当者氏名 上島 晴香	TEL : 0765-54-2115 (直通) FAX : 0765-54-4461
E-mail : kikakuseisaku@city.kurobe.lg.jp	
URL : https://www.kurobeiju.com/	
応募宛先 〒938-8555 富山県黒部市三日市 1301 黒部市企画政策課 上島	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-49 : 富山県朝日町 (人口: 12,065人)
あさひまち

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道「泊駅」

(2) 事業実施の目的等

田舎暮らしを体験してほしい。
移住・定住につながってほしい。

(3) 体験の内容

移住交流体験施設に宿泊。
地元の方・移住者の方との交流会。
薬草・山菜採り、ワサビ畑管理、地のものを食べる。
(薬草・山菜の天ぷら、よもぎ餅、薬草茶、ジビエ料理など)

(4) 受入主体

富山県朝日町笹川地区

(5) 受入期間

5月31日(金)～6月2日(日)
3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：個人負担 宿泊費：参加費に含まれる 食事代：参加費に含まれる ◎参加費：一般 15,000円 学生 10,000円
①要件	田舎暮らし体験をしてみたい方、田舎暮らし・移住・定住に関心のある方
②応募締切り	5月中旬
③宿泊施設	さゝ郷ほたる交流館(移住交流体験施設)
④食事形態	昼・夕は提供。朝食は自炊(食材は提供)
⑤その他	作業ができる服装を用意して下さい

(7) 地域担当者から一言

小さな清流の里で、自然暮らしの第一歩を踏み出してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 富山県朝日町	担当部署 地域振興課
(ふりがな) いのまた そうた 担当者氏名 猪又 聡太	TEL : 0765-83-1100 FAX : 0765-83-1109
E-mail : shinkou@int.town.asahi.toyama.jp	
URL : https://www.town.asahi.toyama.jp/	
応募宛先 〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-50 : 石川県 (人口: 1, 145, 906人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

実施団体により異なります。以下のホームページより確認してください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/shinkou/workstay/index.html>

(2) 事業実施の目的等

地域活動や活性化について、その担い手が不足している地域と、地域活動のお手伝いをしたいと考えている県外の方々(主として都市住民)をマッチングし、県外の方々がニーズに合った地域にかかわる機会を創ることにより、都市と地域の交流を促進し、引いては、移住・交流居住へとつなげていくことを目的としております。

(3) 体験の内容

地域住民と交流しながら、ボランティア活動(農作業や地域活動のお手伝い等)を行います。

※実施団体により異なります。以下のホームページより確認してください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/shinkou/workstay/index.html>

(4) 受入主体

※実施団体により異なります。

(5) 受入期間

※実施団体により異なります。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：※実施団体により異なります。 食事代：※実施団体により異なります。
①要件	※実施団体により異なります。
②応募締切り	※実施団体により異なります。
③宿泊施設	※実施団体により異なります。
④食事形態	※実施団体により異なります。
⑤その他	※実施団体により異なります。

(7) 地域担当者から一言

地域の「宝」である地域特有の文化・伝統を守るためにお手伝いしていただくのが「いしかわDEワークステイ」です。
石川県で、地域活動の応援をしながら、地域に住む人たちと交流してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 石川県	担当部署 企画振興部地域振興課移住促進グループ
(ふりがな) さかた たけし 担当者氏名 坂田 健	TEL : 076-225-1312 (直通) FAX : 076-225-1328
E-mail : iju@pref.ishikawa.lg.jp	
URL : http://www.pref.ishikawa.jp/shinkou/workstay/index.html	
応募宛先 各実施団体にお申込みください。	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-5 1 : 石川^{しかまち}県志賀町 (人口: 20,415人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR七尾線 羽咋駅又は能登部駅下車 北鉄能登バス 高浜バスターミナル (30分)

(2) 事業実施の目的等

若い人の就職先として、能登中核工業団地でニッチトップ企業34社が操業、およそ1,000人が就業している。能登最大級のものづくり企業(製造業)を知ってもらい移住定住先として地域を「しかまちぐらし」を体感していただく事を目的としている。

(3) 体験の内容

- ・ 地域のものづくり企業訪問、従業員から会社の説明(事業内容、就職情報等)
- ・ 地域の暮らし体験(スーパー、ドラッグストア、農産物の直売所訪問)
- ・ 都会的な田舎暮らしを体験(大和ハウス工業株式会社の能登志賀の郷リゾートで温泉付き物件など体験)

(4) 受入主体

志賀町

(5) 受入期間

5月~12月

※オーダーメイドで調整いたします。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 (のと里山空港利用時は往復1万円助成) 宿泊費: 自己負担 (ご相談により無料の場合有) 食事代: 自己負担
①要件	志賀町内企業への就業に興味がある人
②応募締切り	期間中随時受付
③宿泊施設	町内宿泊施設 (ご相談により調整いたします)
④食事形態	町内飲食店
⑤その他	もよりの駅等まで町職員が送迎します。

(7) 地域担当者から一言

能登最大級のニッチ企業が集結した工業団地と、160世帯が定住する志賀の郷リゾートで都会的な田舎暮らしを体験してみませんか。里山里海の幸も堪能できます。

(8) お問合せ先

自治体名 石川県志賀町	担当部署 企画財政課ふるさと創生室
(ふりがな) たきかわ てつや 担当者氏名 瀧川 哲也	TEL: 0767-32-9301 (直通) FAX: 0767-32-3933
E-mail: iju@town.shika.lg.jp	
URL: https://iju-shika.jp/	
応募宛先 〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1 志賀町企画財政課 ふるさと創生担当	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-52 : 福井県福井市 (人口: 264,326人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅 ※福井市役所まで徒歩約5分
(福井駅までのアクセス 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

本市園芸産地である、「三里浜砂丘地」の農の魅力とそこからつながる越前海岸一体の魅力を体験してほしい。また、地域を活かすアイデアを出してもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・果樹(ウメ、オリーブ、ブドウ、モモ、イチジク)の管理、収穫
- ・地域イベントへの参加・協力
- ・砂丘地野菜(越廼ルビー)や本市ブランド農産品(金福・銀福すいか、きやろふく)の収穫

(4) 受入主体

三里浜砂丘地園芸産地振興協会
高須梅生産組合

(5) 受入期間

5月 下旬 ~ 2月 下旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
① 要件	食に興味があり、地方創生に関心のある方
② 募締切り	リクエストに応じて品目や作業内容、イベント等を検討しますので、下記までお問い合わせ下さい
③ 泊施設	民家民宿、ゲストハウス他
④ 事形態	自己負担
⑤ の他	作業できる服装を用意してください

(7) 地域担当者から一言

幸福度ナンバーワンのふくいに遊びに来てください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井市	担当部署 農林水産部 農政企画室 営農支援係
(ふりがな) やすい あやこ 担当者氏名 安井 綾子	TEL: 0776-20-5420 (直通) FAX: 0776-20-5740
E-mail: nousei@city.fukui.lg.jp	
URL: http://www.city.fukui.lg.jp/dept/d320/nousei/index.html	
応募宛先 〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-53 : 福井県福井市 (人口: 264,326人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅
(福井駅までのアクセス 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

・福井で働くことや暮らすことに興味のある学生を対象に、U・Iターン志向の若年者の増加を図り、また福井市内企業への就職者を増やすことを目的として下記(3)のプログラムを実施します。

(3) 体験の内容

- ・市内企業における企業見学や先輩社員との座談会
- ・市内企業経営者や福井市へのU・Iターン者との座談会
- ・福井市へのU・Iターン促進に関するアイデアプランコンテスト

(4) 受入主体

ふくいU・Iターンサマーキャンプ実行委員会

(5) 受入期間

8月下旬~9月上旬
(4泊5日の合宿形式)

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費：無料(宿泊費も補助有り) 現地までの交通費：県外からの参加者は福井駅までの往復交通費を一部補助 食事代：自己負担
①要件	福井で働くこと・暮らすことに興味のある学生(出身地、学年不問。ただし、就活終了者を除く)
②応募締切り	8月5日(月)必着 下記URLからイベントホームページ内の専用フォームにアクセスしてお申込みください。
③宿泊施設	市内宿泊施設(事務局が手配します。)
④食事形態	自己負担
⑤その他	企業訪問を行いますので、訪問先企業に失礼とならない服装をご準備ください。 個人でパソコンを所有されている方はご持参ください。

(7) 地域担当者から一言

市内企業を訪問したり、先輩たちと語り合ったりとさまざまな体験を通して、仲間と共に力を合わせてアイデアプランを創り上げる、とにかく熱い5日間があなたを待っています。周りとは一味違った就活してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井市	担当部署 商工労働部 しごと支援課
(ふりがな) まつぎき しいな 担当者氏名 松崎 詩奈	TEL: 0776-20-5321 (直通) FAX: 0776-20-5738
E-mail: shigoto@city.fukui.lg.jp	
URL: http://fukui-shigoto.net/student/event/detail.php?event_id=32	
応募宛先 〒910-0858 福井県福井市手寄1丁目4-1 アオッサ5F	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-54 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バスまたはまちなか循環バス 大野六間下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にUターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい

(3) 体験の内容

- ・コーヒー店での接客 など

(4) 受入主体

モモンガコーヒー
(<https://www.momongacoffee.com/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

大野にUターンした店主が営む、大野の水で淹れたこだわりのコーヒーを提供する落ち着いた雰囲気のお店です。田舎での起業やコーヒー店の起業に興味のある方におすすめです!

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし
No.-55 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車 徒歩20分 または まちなか循環バス 大野高校口下車徒歩13分

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にIターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい

(3) 体験の内容

- ・古民家カフェ兼ゲストハウスでの接客 など

(4) 受入主体

(5) 受入期間

Cafe & Guest house Name came Ono 【カフェ ナマケモノ】 (http://cafenamecameono.wixsite.com/top-page)	随時 3日間
--	--------

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 (移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付 (応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談 (自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

大野にIターンした店主自身が大野暮らしを満喫している古民家カフェで、二階はゲストハウスになっています。地域の魅力を知ることができたり、様々なお客さんと出会えるはず。

(8) お問合せ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト (大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-56 : おおのし **福井県大野市** (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野の自然を体感し、自然を活かした活動を体験してほしい

(3) 体験の内容

- ・自然ガイド
- ・地域コンサルタント
- ・森林体験活動補助 など

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト
 (<http://okuetu-manmaru.com/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 アウトドアが好きな方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

アウトドアが好きな方にオススメです。大野の豊かな自然を満喫しながら活動することができるメニューです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 <small>ゆい</small> 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-57 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バスまたはまちなか循環バス 大野六間下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・外からの視点を取り入れたい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野にU I ターンした方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい

(3) 体験の内容

- ・地域活性化につながるさまざまな事業の展開
- ・商品開発・観光資源創出 など

(4) 受入主体

合同会社 笑人堂
(<http://www.syonindo.com/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 地域・農業・販売促進などのコンサルティングに興味のある方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

地域活性化のために様々な事業を展開している企業です。大野、福井ならではの食材や食品を知ることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-58 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、まちなか循環バス 城下町東広場口下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野の農業について知ってほしい

(3) 体験の内容

- ・農作物の集荷・販売 など

(4) 受入主体

一般財団法人 越前おおの農林楽舎
(<http://www.ono-gakusya.jp/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

朝採れ野菜や、農薬や化学肥料を削減したお米の販売を通し、ブランド力向上のお手伝いをしている法人です。野菜の集荷などの際には、採れたての野菜を間近に見ることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし
No.-59 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バスまたはまちなか循環バス 大野六間下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にUターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい
- ・地元ならではのこだわりを知ってほしい

(3) 体験の内容

- ・パン屋での接客・販売 など

(4) 受入主体

パナデリア(パン屋)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

大野にUターンした店主が営む、大野の水を使った手作りパンのお店。400年以上前に整備された城下町の面影を残す通りに面し、お店や周囲の雰囲気も楽しめます。

(8) お問合せ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 <small>ゆい くに</small> 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし
No.-60 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・農業を実際に体験してほしい

(3) 体験の内容

- ・農作業・加工製造 など

(4) 受入主体

大野市内農家

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 元気がよく、心身ともに健康な方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

除草や収穫・室内での加工作業など、時期によって内容は様々です。収穫の喜びや難しさなどを体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 ゆい くに 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-6 1 : 福井県大野市 (人口: 33,516人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野六間下車 または まちなか循環バス 結ステーション下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・市外に住む若い人の意見や視点が知りたい

(3) 体験の内容

- ・特産品販売
- ・地場産食材レストランでの接客
- ・展示及びイベント施設での観光客や地元住民へのおもてなし など

(4) 受入主体

平成大野屋
(<http://www.h-onoya.co.jp/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	あわせて自然体験プログラムや移住体験プログラムへの参加も可能(要相談)

(7) 地域担当者から一言

アンテナショップやイベントスペースには、たくさんの観光客が訪れます。ぜひ、外の視点から見たおもてなしの工夫などを提案してください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-62 : 福井県あわらし市 (人口: 28,263人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

市役所までの経路: JR 北陸本線 「芦原温泉駅」下車 徒歩 10分

(2) 事業実施の目的等

地域に住む人と協力して行う地域づくりを体感し、少子高齢化により日本全国各地で抱えている地方の問題を学び、それを打開するアイデアを考え、実践して欲しい。

(3) 体験の内容

地域活性化の拠点として廃校を活用した地域づくりへの参加・協力して意見を出したり、新たな取り組みを提案し、実践したりする。

→ 廃校を活用したワークショップの企画・開催(カフェ・音楽イベント、展示会等…)
・地域のまちづくり団体の活動への参加・協力・意見提言

(4) 受入主体

あわらし市
まちづくり団体(波松地区、吉崎地区)
あわらし地域おこし協力隊

(5) 受入期間

随時受入検討可能(期間応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費・宿泊費・食事代: 自己負担
①要件	大学生及び大学院生 田舎や自然が好き、歴史のある地域に関心がある人、人とのふれあいが好きで地域づくりに興味がある人、廃校を活用してみたい人
②応募締切り	体験希望日の14日前まで
③宿泊施設	・芦原青年の家(3人以上のグループ): 1泊550円(26歳未満) ・温泉旅館・民宿: 各施設による ・民泊: 地域おこし協力隊 中内奏太の自宅: 基本無料
④食事形態	・芦原青年の家: 朝・昼・夜食堂食利用可能(有料) ・温泉旅館・民宿: 各施設による ・民泊(中内宅): 外食もしくは自炊
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

廃校のある2地域、波松は畑作・果樹(スイカ・メロン・梨など)が盛んで、海や湖がすぐ近くにある自然豊かな地域です。吉崎は浄土真宗中興の祖「蓮如上人」がさとりを広めた歴史ロマンあふれる土地です。

廃校を拠点に再び地域の交流・活力を取り戻す取り組みに、あなたのアイデアと力が必要です!

(8) お問い合わせ先

自治体名 あわらし市役所	担当部署 総務部 政策課 企画グループ
(ふりがな) なかうち そうた 担当者氏名 中内 奏太	TEL: 0776-73-8005 FAX: 0776-73-1350
E-mail: seisaku@city.awara.lg.jp	
URL: http://www.city.awara.lg.jp/index.html	
応募宛先 〒919-0692 福井県あわらし市市姫三丁目 1-1	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-63 : ^{てんりゅうむら}長野県天龍村 (人口: 1, 290人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR飯田線 平岡駅下車 徒歩7分

(2) 事業実施の目的等

大学や学生の研究活動やホームステイ等の受け入れを行うことで、中山間地域で暮らす人々のようすや暮らしの実情を知っていただく機会とする。

(3) 体験の内容

大学や学生の研究活動等実施時の受け入れ (過去に受け入れを実施した内容)
 (例)・地域おこし協力隊へのインタビューや村内各地のフィールドワーク
 ・ホームステイや地域の方々との交流 等

(4) 受入主体

天龍村役場地域振興課
 特定非営利活動法人TSUMEMOGAKI

(5) 受入期間

随時 (お電話、メール等にてご相談ください)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	地域活性化、地方創生、観光等に関心のある方
②応募締切り	随時
③宿泊施設	村内宿泊施設等 (ご相談ください)
④食事形態	受け入れ内容による
⑤その他	★過去の受け入れ詳細や大学との交流については、村ホームページに掲載しております。 http://www.vill-tenryu.jp/koryu.html

(7) 地域担当者から一言

長野県の南のはしっこ「天龍村」をご存知でしょうか。村の約94%は山林、高齢化率は全国第2位、天龍川沿いの急斜面に集落が集まって村ができています。
 村では平成18年度より、村内での大学生受け入れや、大学での講義参加などの事業を行っております。例年、地域の方や地域おこし協力隊員との交流や研究活動を行う学生のみなさんが、村を訪れております。お気軽に下記の連絡先までお問い合わせくださいませ。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長野県天龍村	担当部署 地域振興課 移住定住推進係
(ふりがな) ないとう・たじま 担当者氏名 内藤・田嶋	TEL : 0260-32-1023 (直通) FAX : 0260-32-2525
E-mail : suishin@vill-tenryu.jp	
URL : http://www.vill-tenryu.jp/	
応募宛先 〒399-1201 長野県下伊那郡天龍村平岡 878 番地 天龍村役場 地域振興課 移住定住推進係	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-64 : ^{てんりゅうむら}長野県天龍村 (人口: 1, 290人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR飯田線 中井侍駅下車すぐ

(2) 事業実施の目的等

山間部の地域で行われるお茶摘みを体験していただくことで、担い手不足に悩むお茶農家や美しい景観や地域の産業を守ろうと取り組む移住者たちとの交流を図る。
また、お茶摘みを入り口とし、天龍村の特色ある地域の産業や伝統に対する関心を深めていただき、関係人口創出の糸口とする。

(3) 体験の内容

・中井侍地区のみなさんや地域おこし協力隊OB・OGとともにお茶摘み体験 等

(4) 受入主体

特定非営利活動法人T SUMEMOGAKI
<https://www.facebook.com/tsumemogaki/>

(5) 受入期間

5月下旬～7月上旬の週末(予定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの往復交通費、宿泊費、食事代:参加者負担 参加費:5,000円/人(含昼食代) (保険はご自身で加入ください。)
①要件	特になし(長袖、長ズボン、運動靴等、お茶摘みができる服装でお越しく下さい。長靴の貸出あり。)
②応募締切り	開催日の5日前までにお問い合わせください。 ※参加申込書の提出は不要です。
③宿泊施設	参加者自身でご予約ください(村内には、宿泊施設が4箇所ございます)。
④食事形態	未定
⑤その他	詳細が決定しましたら、村ホームページ、楽園信州ページ、JOINにてお知らせいたします。また、資料等の郵送も随時承ります。ご不明な点、ご相談など、お気軽にお問い合わせくださいませ。

(7) 地域担当者から一言

長野県の南のはしっこ「天龍村」をご存知でしょうか。村の約94%は山林、高齢化率は全国2位、天竜川沿いの急斜面に集落が集まって村ができています。
そんな村の南部にある中井侍地区には、県内でもトップクラスの品質を誇る茶農家があります。しかし、高齢化による茶農家の担い手不足が大きな課題になっています。将来にわたって美しい景観と、村の名産である「お茶」を残したい!そんな思いで、移住者と中井侍地区がタッグを組んで、お茶摘み体験ツアーを開催します。
ななめに広がる茶畑に、一度来てみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長野県天龍村	担当部署 地域振興課 移住定住推進係
(ふりがな) ないとう・たじま 担当者氏名 内藤・田嶋	TEL: 0260-32-1023 (直通) FAX: 0260-32-2525
E-mail: s-suishin@vill-tenryu.jp	
URL: http://www.vill-tenryu.jp/	
応募宛先 〒399-1201 長野県下伊那郡天龍村平岡 878 番地 天龍村役場 地域振興課 移住定住推進係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-65 : 岐阜県御嵩町^{みたけちょう} (人口: 18,356人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

名古屋鉄道広見線 御嵩駅下車 徒歩約 10 分

(2) 事業実施の目的等

- 町域の約 60%を山林が占める里山のまちで、岐阜県で唯一「環境モデル都市」に認定されています。
- 江戸時代の主要街道として栄えた中山道を歩く外国人観光客が訪れていたり、各国大使を招き地域の魅力をPRするなどインバウンドにも力を入れています。
- 町ならではの体験や地域住民との交流を通して、町について知ってもらい、移住や起業、就職などのきっかけづくりを目的としています。

(3) 体験の内容

- ◆地域イベントへの参画
- ◆地域住民との体験交流 (例)
 1. 食文化体験
食をテーマに町おこしをされている団体との交流を図ります。岐阜県や御嵩町の歴史や文化を華やかなお寿司で表現した郷土食「みたけ華ずし」の手作り体験を実施します。
 2. 町内散策
地元ボランティアガイドと共に町内の史跡を巡ります。
 3. 農林業体験
化学農薬・肥料に頼らず、古くから伝わる伝統的な手法を取り入れた農法などを学びます。
 4. 里山保全体験
里山をフィールドにして、地域の森林を守る活動などを学びます。

(4) 受入主体

御嵩町

(5) 受入期間

8月～9月頃

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：一部主催者負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 傷害保険料：主催者負担
①要件	地域づくりに興味のある学生 ※公共交通機関を利用してご来町ください。
②応募締切り	電話もしくはメールでお問い合わせのうえ、参加申込書を提出してください。 ※電話の場合は、御嵩町役場の代表電話に繋がりますので、若者の地方体験交流についてまちづくり課への問い合わせと伝えてください。 定員に達した場合は、募集を締め切ります。
③宿泊施設	町内宿泊施設など ※近隣地域に在住の方は日帰り可
④食事形態	町内飲食店など
⑤その他	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(7) 地域担当者から一言

過去5年間で大阪や愛知、関東方面から20名以上が御嵩町を訪れました。体験終了後も町でのイベントに来て頂くなど、良い繋がりを築いています。
ぜひ町に足を運んでいただき、“御嵩町のファン” になってください。
興味がありましたら、お問い合わせください。みなさまのご応募お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御嵩町	担当部署 総務部 まちづくり課 まちづくり推進係
(ふりがな) ほりえ ゆか 担当者氏名 堀江 有加	TEL : 0574-67-2111 (内線 2244) FAX : 0574-67-1999
E-mail : matidukuri@town.mitake.lg.jp	
URL : http://www.town.mitake.gifu.jp/	
応募宛先 〒505-0192 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 1239-1 御嵩町 まちづくり課 まちづくり推進係 あて	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-66 : 静岡県^{ふじし}富士市 (人口: 254, 110人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東海道線 富士駅より各事業所へ
JR東海道・山陽新幹線 新富士駅より各事業所へ

(2) 事業実施の目的等

若者の地元企業への就職促進及び市内中小企業の人材確保、雇用のミスマッチ解消のために、インターンシップ事業(学生の就業体験)や市内事業所・富士市の魅力を紹介するバスツアーを実施する。

(3) 体験の内容

・インターンシップ
市内登録事業所においてインターンシップを実施(対象者には、市から交通費、宿泊費を助成)
・事業所見学会
市内事業所をバスツアーで見学(対象者には、市から交通費を助成)

(4) 受入主体

富士市、市内各登録事業所

(5) 受入期間

平成31年4月から平成32年3月までの期間で、各事業所のインターンシップ実施期間(事業所見学会は、2月に実施予定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 市外からの参加者には、住所地から富士市までの交通費を一部上限ありで助成 宿泊費: 市内の宿泊施設に限り、1回のインターンシップに対して、5泊を上限に1泊3,000円を助成 食事代: 自己負担
①要件	大学生(学部生、院生)、短大生、専門学校生、高等専門学校生、高校生
②応募締切り	随時
③宿泊施設	助成対象施設は市内施設に限る
④食事形態	自己負担
⑤その他	市ウェブサイト (http://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0605/rn2ola000000fgk3.html) にて、随時情報公開中です

(7) 地域担当者から一言

富士山と駿河湾、山と海に囲まれ、一年中温暖な気候で、穏やかに過ごすことのできるまち富士市で魅力的な企業を見つけてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 富士市	担当部署 産業経済部商業労政課雇用労政担当
(ふりがな) こばやし、はやし 担当者氏名 小林、林	TEL: 0545-55-2778 (直通) FAX: 0545-55-2971 (直通)
E-mail: sy-syougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp	
URL: http://www.city.fuji.shizuoka.jp/index1.html	
応募宛先 〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地 富士市役所産業経済部商業労政課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-67 : 静岡県伊豆の国市 (人口: 48,830人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東海道線三島駅乗り換え伊豆箱根鉄道伊豆長岡駅下車 伊豆箱根バス温泉場駅バス停

(2) 事業実施の目的等

旅館・ホテルの宿泊業の働き方や魅力を伝え、市内宿泊業における人材確保・担い手の確保につなげるとともに、東京都心から1時間半という交通アクセスの良さや市内の住環境をPRし、伊豆の国市への移住・定住の推進を図る。

(3) 体験の内容

旅館・ホテルで、3日間を基本として、接客・内務の仕事体験(注)を実施します。

- 注) ◆接客…出迎え・出発時見送り、客室案内、食事の配膳、宴会準備・片付け等
◆内務…料理運び、客室片付け・清掃等
※事前に体験業務内容の希望をとります。

(4) 受入主体

伊豆長岡温泉 旅館・ホテル
(観光協会が各種調整業務を実施)

(5) 受入期間

7月上旬～2020年3月中旬(予定)
3日間(2泊3日)を基本

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 要した往復交通費を支給(15,000円を限度額とする) 宿泊費: 不要※旅館・ホテルの従業員寮又は空部屋(男女別の相部屋)に宿泊 食事代: 不要※旅館・ホテルの従業員食(まかない食)を体験
①要件	旅館・ホテルでの就労意欲・関心をもつ18～55歳(外国人留学生可)
②応募締切り	期間中、随時設定
③宿泊施設	伊豆長岡温泉 旅館・ホテルの従業員寮又は空部屋(男女別の相部屋)等
④食事形態	従業員食を基本とする
⑤その他	平成29年度の実績 体験実施施設 2施設(旅館1・ホテル1) 平成30年度の実績 体験実施施設 6施設(旅館4・ホテル2)

(7) 地域担当者から一言

宿泊業は、お客様がチェックインしてからチェックアウトするまで、常にお客様に最高の喜びを提供することを考える「究極のサービス業」といわれています。就労体験をきっかけに旅館・ホテルでの就労希望や関心を持っていただいた場合には、全力で就労・移住のサポートを行います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 静岡県伊豆の国市	担当部署 観光文化部 観光課
(ふりがな) おがわ あきひろ 担当者氏名 小川 彰弘	TEL: 055-948-1480(直通) FAX: 055-948-2926
E-mail: kankou@city.izunokuni.shizuoka.jp	
URL: https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/kankou/syuroutaiken.html	
応募宛先 〒410-2201 伊豆の国市古奈 255 一般社団法人伊豆の国市観光協会	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-68 : 三重県津市^{っし} (人口: 279,802人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄名張駅下車 三重交通バス中太郎生バス停 (所用時間約45分)

(2) 事業実施の目的等

美杉地域における豊かな自然と歴史資源、地域・民間活力を活用し、都市住民に田舎暮らし(宿泊・農作業体験・自然散策等)を体験させる「美杉の魅力発見塾」を実施することにより、定住へと繋げることを目指し、地域の活性化・津市の元気づくりの推進を図ることを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・農業体験(稲作や野菜・山の幸収穫等)
 - ・セラピーロード体験
 - ・そば打ち体験
 - ・ホタル狩り体験
 - ・田舎こんにやく作り体験
 - ・美杉木工体験
 - ・町歩き(史跡めぐり)
 - ・フジバカマ畑散策(アサギマダラ観察)
 - ・滝めぐり
- ※体験内容は一例です。

(4) 受入主体

太郎生地域づくり協議会

(5) 受入期間

4月～3月(1年間)
最大2泊3日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担 (美杉の魅力発見塾による体験付き宿泊: お1人様5,500円(食事付))
①要件	直接たろっと三国屋へ「体験をお願いします。」とお申込みください。(要予約) お申込先: 059-273-0001
②応募締切り	水曜・木曜定休日(5人以上のグループは要相談) 営業時間10時～15時 営業時間中にお電話でお申込みください。
③宿泊施設	たろっと三国屋(民宿 シャワー設備有)
④食事形態	自己負担 地元食材を活かした食事を提供します。
⑤その他	体験内容は予約時にご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

都会の喧騒からしばし離れて、自然豊かな環境に癒され、田舎ならではの体験ができます。地元食材で作られる田舎料理と、ゆっくりとした時間を満喫してください。

(8) お問合せ先

自治体名 津市	担当部署 津市美杉総合支所 地域振興課 地域振興担当
(ふりがな) すぎたに よしゆき 担当者氏名 杉谷 義之	TEL: 059-272-8082 (直通) FAX: 059-272-1119
E-mail: 272-8080@city.tsu.lg.jp	
URL: http://www.info.city.tsu.mie.jp/	
応募宛先 〒515-3536 三重県津市美杉町太郎生 2046 番地 4 たろっと三国屋 (電話: 059-273-0001)	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-69 : ^{まつさかし}三重県松阪市 (人口: 164, 568人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR・近鉄 松阪駅～道の駅 飯高駅 (三重交通バス「道の駅 飯高駅」「スメール」行き 約60分)

(2) 事業実施の目的等

- ・過疎地域である飯南・飯高地域への観光交流人口と移住・定住人口の増加を図る。
- ・地域活性化やコミュニティの維持を促進する。
- ・当地域の文化や産業などが体験できる機会を提供する。

(3) 体験の内容

- ・農林業 (米・野菜、お茶、林業、しいたけ栽培など)
- ・福祉 (介護老人福祉施設など)
- ・地域文化 (和紙、綿、陶芸、登山道整備など)
- ・地域行事 (草刈り、行事の手伝いなど)

(4) 受入主体

- ・松阪市地域づくり連携課移住促進係
- ・飯高地域振興局、飯南地域振興局
- ・各関係者等

(5) 受入期間

4月1日(月)～3月31日(火)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	・中山間地域への移住を希望される方 ・中山間地域での田舎暮らしを体験したい方 ・中山間地域での就業を希望される方
②応募締切り	随時募集
③宿泊施設	自由 (相談可能)
④食事形態	各自負担
⑤その他	体験内容・時間等ご希望に応じて対応しますので、ご相談ください。※日帰り体験も可。(例：1泊2日 10:00～16:00 農業体験、紙漉き体験)

(7) 地域担当者から一言

参加希望者の要望に沿ったメニューを地域の方々と相談し提案しますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 松阪市	担当部署 企画振興部地域づくり連携課移住促進係
(ふりがな) うちだ・せこ 担当者氏名 内田・世古	TEL : 0598-53-4349 (直通) FAX : 0598-22-1377
E-mail : commu.div@city.matsusaka.mie.jp	
URL : http://www.city.matsusaka.mie.jp	
応募宛先 〒515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-70 : 三重県^{とばし}鳥羽市 (人口: 18,784人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄鳥羽駅、JR鳥羽駅

(2) 事業実施の目的等

漁業に関心があり、漁業に取り組んでみたいと考えている方と、人手不足で悩んでいる漁家を結びつける。

(3) 体験の内容

・漁業体験
養殖わかめ等の加工作業など(10月~3月)
・アンケート調査の実施

(4) 受入主体

鳥羽磯部漁業協同組合
鳥羽市農水商工課

(5) 受入期間

下記の間合せ先までご連絡下さい

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 各自で負担 宿泊費: 事業で負担 食事代: 各自で負担
①要件	漁業に関心があり、漁業に取り組んでみたいと考えている方
②応募締切り	下記の間合せ先までご連絡下さい
③宿泊施設	旅館又は民宿
④食事形態	各自で負担
⑤その他	作業ができる服装を用意して下さい

(7) 地域担当者から一言

漁業と観光の町、三重県鳥羽市で漁業体験をしてみませんか。
地域の伝統文化を肌で感じてみたい方、田舎暮らしに興味がある方もご応募お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 鳥羽市役所	担当部署 農水商工課 水産係
(ふりがな) なかむら たく 担当者氏名 中村 琢	TEL: 0599-25-1167 (直通) FAX: 0599-26-2810
E-mail: suisan@city.toba.lg.jp	
URL: http://www.city.toba.mie.jp/	
応募宛先 〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1-1	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あやべし
No.-7 1 : 京都府綾部市 (人口: 32,527人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗り、35分間で「かじや(里山交流研修センター前)」バス停にて下車

(2) 事業実施の目的等

閉校となった小学校舎を再活用した「綾部市里山交流研修センター」を、指定管理者「里山ねっと・あやべ」が都市農村交流と地域振興に役立てています。秋には、地元の祭り「小畑祭り」のお手伝いが可能です。地元の方との交流を楽しみながら、秋の里地里山の空気を満喫して下さい。

(3) 体験の内容

村祭りのお手伝い(10月)
 ※神輿や獅子舞のお手伝い、記録撮影など

(4) 受入主体

綾部市里山交流研修センター
 (里山ねっと・あやべ)

(5) 受入期間

2019年10月中旬頃(1~2日間)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担 体験料: 自己負担 ※大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
①要件	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
②応募締切り	2019年6月末
③宿泊施設	綾部市里山交流研修センター
④食事形態	自炊
⑤その他	最小催行人員5名 上限30名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

(7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、地域住民と親しむとともに、綾部という土地の魅力に触れて、綾部の地域再生を担うサポーターになってください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 京都府綾部市	担当部署 定住交流部観光交流課
(ふりがな) ながい なおこ 担当者氏名 永井 直子	TEL: 0773-42-4273 (直通) FAX: 0773-42-4406
E-mail: kankokoryu@city.ayabe.lg.jp	
URL: https://ayabesatoyama.net	
応募宛先 〒623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9番地 綾部市里山交流研修センター 里山ねっと・あやべ TEL: 0773-47-0040 FAX: 0773-47-0084 メール: contact@satoyama.or.jp	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-72 : 奈良県御所市^{ごせし} (人口: 25,997人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄御所駅、JR 御所駅 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

現代アートを通じて、アーティストと地域住民の交流を図り、地域の風土を生かした創作活動や作品を通じて、地域の魅力を発信する。(平成30年度アートイベントWSMA(ワズマ)を御所市内で開催)

(3) 体験の内容

世界でも活躍する現代アーティストとともに、地域の風土や文化を生かした創作活動を行う。
(創作活動のサポート)

(4) 受入主体

アーティストインレジデンス開催実行委員会
(御所市)

(5) 受入期間

11月ごろ2週間程度(詳細は後日発表)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 要 宿泊費: 不要(市にて準備) 食事代: 要
①要件	・現代アートに興味があり、アーティストとともに創作活動を行いたい方。 ・英語が話せるとなおよい。
②応募締切り	9月末まで。市HP、郵送にて応募
③宿泊施設	市内にて受入れ
④食事形態	自炊
⑤その他	創作活動を行うための服装を準備ください。

(7) 地域担当者から一言

世界で活躍する現代アーティストとともに創作活動を体験してみませんか?
地域の風土や文化を作品に取り込んでいくプロセスを体験できますよ。

(8) お問い合わせ先

自治体名 奈良県御所市(ごせし)	担当部署 企画部 企画政策課 まちづくり推進係
(ふりがな) いけだ あきひろ 担当者氏名 池田 昭裕	TEL: 0745-62-3001(内線)325 FAX: 0745-62-5425
E-mail: machi@city.gose.nara.jp	
URL: http://www.city.gose.nara.jp	
応募宛先 〒639-2298 奈良県御所市1番地の3 御所市 企画政策課 まちづくり推進係	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわかみむら
No.-73 : 奈良県川上村 (人口: 1, 313人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄電車吉野線 大和上市駅下車 やまぶきバス、(又はスマイルバス、ゆうゆうバス)
川上村役場前下車

(2) 事業実施の目的等

- ・ 地域のために、村民の暮らしのために、ともに動き、考え、その根底にある、水源地の村づくりを体感してもらいたい。
- ・ 若者、外部の視点からの意見を聞きたい。

(3) 体験の内容

- ・ 川上村を学ぶレクチャー (座学、水源地の森トレッキング、大滝ダムレクチャー、林業レクチャー等を予定)。村内機関でのインターン。地域行事(盆踊り等)への参加と協力。
- ・ 最終日にインターンシップを通じて得た学生自身のネクストアクションの発表
- ・ 川上村インターン事業 Facebook ページでの活動内容の発信

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月 8日(木) ~ 8月21日(水)
14日間 (予定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：負担なし 食事代：自己負担※費用相当分の補助あり
①要件	大学生及び大学院生
②応募締切り	6月17日(月)必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送またはメールをお願いします。
③宿泊施設	公共施設(コテージ等)
④食事形態	自炊
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。 参加者に持ち物等の詳細をご案内します。

(7) 地域担当者から一言

川上村は500年の歴史を持つ吉野林業の地で、大滝・大迫ダムと緑のダムを抱える水がめの村です。吉野川・紀の川の源流から清らかな水を流域に届け続ける村づくりをしています。過疎地域における行政の取組や地域のうごき、林業や環境保全に関心ある方をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 奈良県川上村	担当部署 水源地課
(ふりがな) よしだ しほ 担当者氏名 吉田 志帆	TEL : 0746-52-0111 (内線) 20 FAX : 0746-52-0345
E-mail : suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp	
URL : http://www.vill.kawakami.nara.jp/	
応募宛先 〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫 1335-7	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-74 : 鳥取県湯梨浜町 (人口: 16,976人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陰本線 松崎駅下車 徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

町内においてボランティア活動に従事してもらうことにより、観光では味わうことのできない住民との交流を体験してもらうとともに、交流による地域の活性化及び移住定住の推進を図る。

(3) 体験の内容

- ・地域住民が立ち上げたカフェでの接客補助
- ・農業体験 (農作物の収穫、出荷作業補助)

(4) 受入主体

湯梨浜町
(ボランティア受入団体: カフェ梅や、樋口農園)

(5) 受入期間

毎年5月以降 随時
(体験期間 1~3日程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 全額自己負担 宿泊費: 町内の民間のゲストハウス「たみ」を利用される場合は、宿泊費は受入主体が負担します。(最大3日まで) 食事代: 全額自己負担
①要件	県外に居住し、上記体験を希望する者
②応募締切り	随時
③宿泊施設	民間のゲストハウス「たみ」(男女別の相部屋、自炊キッチン有り)
④食事形態	原則自炊(併設するカフェでの軽食等の提供(有料)有り)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

ボランティアのお手伝いでみんなが笑顔になります。ボランティアの作業でおいしい農作物が育ちます。たった1日でもO.Kです。湯梨浜町の暮らしを体験してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 湯梨浜町	担当部署 企画課 まちづくり推進係
(ふりがな) たねこ 担当者氏名 種子	TEL: 0858-35-5311 (直通) FAX: 0858-35-3697
E-mail: ykikaku@yurihama.jp	
URL: http://www.yurihama.jp/soshiki/3/1391.html	
応募宛先 〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留 19 番地 1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-75 : 島根県益田市 (人口: 46,826人) ますだし

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

(空港) 萩・石見空港 (JR) 山陰本線益田駅下車 石見交通バス 東仙道バス停
または、広島駅新幹線口→石見交通バス (新広益線) 東仙道バス停

(2) 事業実施の目的等

・島根県益田市美都町は、島根県の西側に位置し、山々に囲まれた人口約2,000人の小さな町です。特産品である「ゆず」は、中国地方有数の生産量を誇ります。「ゆず収穫ボランティアホリデー」では、ゆずの収穫作業を通して、島根県益田市美都町を知ってもらい、UIターンのきっかけとなることを期待します。

(3) 体験の内容

- ・ゆずの収穫作業体験
- ・農家と参加者を交えた交流会
- ・郷土芸能「石見神楽」の鑑賞
- ・美人の湯「美都温泉」入浴体験 ほか

(4) 受入主体

美都ボランティアホリデー実行委員会

(5) 受入期間

11月中旬～下旬の2日間程度
(日程決定後、市ホームページ等でお知らせ)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 (参加料金をいただき、昼食・交流会費に充てます。)
①要件	田舎暮らしや農作業の体験をしてみたい健康な方
②応募締切り	ボランティアホリデー実施の1週間前
③宿泊施設	市内旅館・ホテル等
④食事形態	自己負担 (昼食・交流会費は参加料金の中で用意します。)
⑤その他	ゆず圃場で農作業を行いますので、帽子・汚れてもよい服装・雨天時のカッパ等の準備をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

ゆずの収穫時期は、11月～12月です。その時期には、美都町内のいたるところで黄色いゆずを目にすることができます。収穫用のハサミを使って枝から切り取ると、さわやかなゆずの香りを感じることができます。ぜひ、みなさん自身の手でゆずを収穫しに美都町へお越しください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 益田市	担当部署 美都総合支所 地域振興課
(ふりがな) おしたに はるみ 担当者氏名 押谷 晴美	TEL : 0856-52-2314 (直通) FAX : 0856-52-2190
E-mail : chiiki-m@city.masuda.lg.jp	
URL : http://www.city.masuda.lg.jp	
応募宛先 〒698-0292 島根県益田市美都町都茂 1803-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-76 : 島根県益田市 (人口: 46,826人) ますだし

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

(空港) 萩・石見空港 (JR) 山陰本線益田駅下車 石見交通バス 二川バス停
または、広島駅新幹線口→石見交通バス (新広益線) 美都温泉入口バス停

(2) 事業実施の目的等

・島根県益田市二川地区は、島根県の西側に位置し、山々に囲まれた人口約200人の小さな地区です。郷土食「焼米(やっこめ)」づくりを通して、田舎で大切にしてきた「結の精神」を体験できます。また、薪割り・たき火・大鍋を囲んで参加者・主催者・地域の方との交流を行います。

(3) 体験の内容

・郷土食「焼米(やっこめ)」づくり体験(体験時間2時間程度)
その他、郷土食「うずめ飯」づくり体験・石窯ピザづくり体験(体験料各1,000円/人)も可能。

(4) 受入主体

二川地域地域自治組織
「ぬくもりの里 二川」

(5) 受入期間

通年
(7・8月、年末年始は除きます。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 体験料：2,000円/人
①要件	無し(受入可能人数5~20人)
②応募締切り	随時 ただし、事前準備が必要ですので、1月前までにはお問い合わせください。
③宿泊施設	宿泊なし(徒歩5分で美人の湯「美都温泉」がありますのでご利用ください。)
④食事形態	各自(うずめ飯・ピザづくり体験をされた場合は、昼食としてお召し上がりください)
⑤その他	屋外での体験ですので、汚れてもよい服装・動きやすい靴でお越しください。 作った焼米はおみやげとしてお持ち帰りいただけます。

(7) 地域担当者から一言

郷土食「焼米」は、米を炒った保存食で、地域に伝わる田舎の生活の知恵です。現代風のアレンジレシピで試食します。地元の方との交流を通じた忘れられない田舎体験をしてみませんか。また、参加者全員で結束力を高め、達成感が味わえる体験ですので、研修等にもご利用ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 益田市	担当部署 美都総合支所 地域振興課
(ふりがな) おしたに はるみ 担当者氏名 押谷 晴美	TEL : 0856-52-2314 (直通) FAX : 0856-52-2190
E-mail : chiiki-m@city.masuda.lg.jp	
URL : http://www.city.masuda.lg.jp	
応募宛先 〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口 377-3 (二川公民館内) 二川地域地域自治組織「ぬくもりの里 二川」(担当：小原静伍) TEL : 0856-52-2241 FAX : 0856-52-2156	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いいなんちょう

No.-77 : 島根県飯南町 (人口: 4,900人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・JR三次駅(広島県)から、路線バスで40分
- ・出雲空港または出雲市駅から高速バスに乗り、たたらば壱番地下車後、路線バスで30分

(2) 事業実施の目的等

就職、移住を検討するにあたって、田舎暮らしを体験し、地元の人と交流を持ち、まちの風土を知ってもらうことを目的としています。ご相談に応じて自由に体験内容を組み替えますので、田舎で体験してみたいこと、知りたいことをご相談ください。

(3) 体験の内容

農業用ハウス内での農業体験、牧場での就業体験、短期就業体験、UIターン者との交流、伝統文化しめなわづくり等の体験、田植えや稲刈りなど、季節に応じて可能な田舎暮らし体験が可能です。また、地域のイベントなどへの参加や、住居の候補となる住宅や空き家の見学など。町内で活躍する地域おこし協力隊の業務体験も可能です。

(4) 受入主体

飯南町定住支援センター

(5) 受入期間

4月上旬～3月下旬
3日間程度(期間期日は応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: ご負担ください。 宿泊費: 飯南町内での宿泊費はかかりません。 食事代: ご負担ください。 各種体験料はかかりません。
①要件	中山間地への移住、就職を検討している方
②応募締切り	随時受付。実施希望日の10日前までにご相談ください。調整します。
③宿泊施設	飯南町お試し暮らし住宅、または一般の宿泊施設
④食事形態	お試し暮らし住宅の場合、自炊施設完備 近隣にスーパーがあります。 コンビニまでは車で5分です。
⑤その他	自転車やレンタカーがあることが望ましいですが、移動手段はご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

飯南町は人口5千人弱のちいさなまちですが、毎年移住施策を通じて50人前後の方が移住しているとても元気なまちです。雄大な自然と豊かな伝統文化を体験し、田舎暮らしをぜひご検討ください。滞在中の体験や期間等は相談に応じて組み替えますので、お気軽にご相談ください。複数人での参加も歓迎します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 飯南町(いいなんちょう)	担当部署 地域振興課
(ふりがな) おおえ もとひろ 担当者氏名 大江 基博	TEL: 0854-76-2864(直通) FAX: 0854-76-2221
E-mail: teiju-center@iinan.jp	
URL: http://iinan-teiju.jp	
応募宛先 〒690-3513 島根県飯石郡飯南町下赤名880 飯南町役場 地域振興課 担当: 大江	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 7 8 : 岡たまのし山たまのし県たまのし玉野市 (人口 : 5 9 , 6 3 3 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R宇野みなと線・宇野駅下車

(2) 事業実施の目的等

- ・ 農漁業体験を通じて、玉野市の魅力を体感してほしい。
- ・ 魅力的な体験プログラムの開発・改良に向けて意見やアイデアを伺いたい。

(3) 体験の内容

- ・ 農業体験 (収穫体験 [ミカン・サツマイモ・シイタケなど]、農作業体験、雑穀料理教室など。収穫体験とセットで、「その場で食べるイベント」も開催。)
- ・ 漁業体験 (底引き・つぼ網漁体験、海苔すき体験、魚のさばき方教室、地場の魚の食事会など。)

(4) 受入主体

たまの農山漁村魅力向上推進協議会

(5) 受入期間

収穫体験は10月下旬～2月、農業体験は通年、
漁業体験は4月中旬～10月上旬、海苔すき体験は12月～2月、その他は随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：体験の中に含む。
①要件	農業体験や漁業体験に興味がある方。玉野市に興味がある方。
②応募締切り	随時受付。下記までお問合せください。
③宿泊施設	玉野市内の宿泊施設をご紹介します。
④食事形態	体験の中に含む。農業体験は雑穀料理教室。漁業体験は地場の魚の食事会。
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

美しい瀬戸内海に面し、四季折々の山の幸、海の幸が楽しめる玉野市では、民間企業と連携して農漁業の体験型観光に取り組んでいます。地域の方々との交流を楽しみながら、魅力的な体験プログラムの開発・改良に向けて、若者ならではの意見やアイデアを聞かせてください！

(8) お問い合わせ先

自治体名 岡山県玉野市	担当部署 産業振興部 農林水産課
(ふりがな) ひろはた かずお 担当者氏名 廣畑 一夫	TEL : 0863-32-5535 (直通) FAX : 0863-32-1349
E-mail : nourinsuisan@city.tamano.lg.jp	
URL : https://www.city.tamano.lg.jp/	
応募宛先 〒706-8510 岡山県玉野市宇野1丁目27番1号 玉野市 産業振興部 農林水産課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-79 : 岡山県新見市(人口: 29,624人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伯備線新郷駅

(2) 事業実施の目的等

木材材価の低迷、林業従事者の減少・高齢化等により、市内森林の施業は年々困難になっており、間伐等を必要とする人工林が増加している状況下において、大学生等の協力のもと、山林の保育活動の推進を図ることに加え、森林の持つ公益的機能等の重要性について学んでもらうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・間伐等の森林整備体験
- ・他大学学生との共同生活体験

(4) 受入主体

(一社) 人杜守 (ひとともり)

(5) 受入期間

前期: 平成31年9月上旬
後期: 平成32年3月上旬
前・後期ともに2週間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 主催者負担 食事代: 自己負担 機械整備代: 2,500円 作業着およびスパイク地下足袋またはスパイク付長靴、5本指靴下: 計8,000円前後 ※お持ちの方は購入の必要はありません。
①要件	心身ともに健康な18才以上の男女
②応募締切り	前・後期とも開催の1ヶ月前まで
③宿泊施設	市内宿泊施設
④食事形態	自炊(参加した学生が協力して自ら調理を行う)
⑤その他	保険等は主催者負担で加入します。

(7) 地域担当者から一言

・チェーンソーを使用する等の森林整備等、他の森林ボランティアにはない取り組みができ、貴重な体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新見市役所	担当部署 産業部 農林課 林業振興係
(ふりがな) にしだ りょうすけ 担当者氏名 西田 稜亮	TEL: 0867-72-6134 (直通) FAX: 0867-72-6181
E-mail: ryosuke-nishida@city.niimi.lg.jp	
URL: https://www.city.niimi.okayama.jp	
応募宛先 〒719-3612 岡山県新見市神郷油野3931 環境保全型森林ボランティア事務局 一般社団法人人杜守 担当佐伯 (TEL: 090-2826-9501 E-mail: yanbotakara@gmail.com)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-80 : 岡山県美咲町^{みさきちょう} (人口: 14,319人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR津山線 亀甲駅 徒歩3分

(2) 事業実施の目的等

美咲町地域林業担い手サポート協議会は、森林の公益的機能の発揮と林業のサイクルを循環させるため、林業の担い手確保に向けた総合的な取り組みをしています。その一環として、林業で働くことに興味のある人を対象に、就業に向けた現地作業体験と林業者との意見交換会を開催しています。(H30実績: 8/11(祝)、10/6(土)、12/9(日))

(3) 体験の内容

○林業体験 フォレスターによるデモンストレーションと林業機械(チェーンソー、重機、林内作業車)の作業体験等を行います。
○意見交換会 森林組合職員、林業者、林業事業体と就業・生活・Iターンについてや町の移住・定住について個別相談を行います。

(4) 受入主体

美咲町地域林業担い手サポート協議会

(5) 受入期間

7月~12月の期間で3回程度開催
1日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(お試し暮らし住宅の利用可: 限定1組のみ) 食事代: 昼食代1,500円程度
① 要件	林業で働くことに興味のある方
② 応募締切り	開催日の10日前までにメール、FAX、TELにて申し込みください。
③ 宿泊施設	車で来られる場合は、町内の宿泊施設、公共交通機関なら近隣の宿泊施設
④ 食事形態	昼食のみ(弁当)
⑤ その他	汚れてもよい作業できる服装・長靴・保険証

(7) 地域担当者から一言

町内の若手林業者を中心に「担い手部会」を結成しています。担い手部会は情報交換による交流、新規就業者や移住者との協力体制を作っています。美咲町で林業の「未来」をつくりましょう!

(8) お問い合わせ先

自治体名 美咲町	担当部署 産業観光課
(ふりがな) ころやす ひでお 担当者氏名 頃安 英生	TEL: 0868-66-1118(直通) FAX: 0868-66-7622
E-mail: sangyou@town.okayama-misaki.lg.jp	
URL: https://www.town.misaki.okayama.jp/soshiki/sangyokanko/	
応募宛先 〒709-3717 岡山県久米郡美咲町原田3111-3 久米郡森林組合 TEL: 0868-66-0053 FAX: 0868-66-2539	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-8 1 : ^{ながとし} 山口県長門市 (人口: 34,305人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車 JR美祢線 長門湯本駅下車
サンデンバス 長門湯本駅-俵山公民館前

(2) 事業実施の目的等

都市部で暮らす若者を受入れ、地域住民との交流を通じて、若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動、地域の祭り等)
- ・ 日帰り入浴施設、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (情報誌、ホームページ、フェイスブック等) 等

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 受入費用: 3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成31年 7月 1日 (月) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

受入主体となる NPO 法人は、地域住民と協力して、地域の活性化に取り組んでいます。あなたも、俵山地域の人と交流し、体験を通して地域の事を知り、あなたの若い発想力で、この地域が活性化するための提案をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな) ふくむら まさよし 担当者氏名 福村 真惟	TEL: 0837-23-1229 (直通) FAX: 0837-22-0135
E-mail: chosei@city.nagato.lg.jp	
URL: http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ http://tawarayama.jp/	
応募宛先 〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かつうらちょう
No.- 8 2 : 徳島県勝浦町 (人口 : 5, 272人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 徳島駅から徳島バス勝浦線 「坂本八幡神社前」バス停下車

(2) 事業実施の目的等

農業体験やイベント参加を通して、都市部の若者と地域住民との交流等を行うことで、地域の方々へも刺激となり、新しいアイデアや意見を提言してもらうことによって、町の魅力を再発見し、今後とも町を応援していただけるような関係性を築くことを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・ 農業体験 (柑橘類の手入れと出荷等)
- ・ 地域イベントへの参加と交流 (ひな祭りイベントの飾り付けの手伝い等)
- ・ まちづくり団体と交流

(4) 受入主体

坂本グリーンツーリズム運営委員会

(5) 受入期間

2020年 2月6日(木)～2月12日(水)
7日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 (最寄り駅もしくは空港までの送迎は可能) 宿泊費：町負担 食事代：町負担
① 要件	・ 農業体験や地域づくりに興味のある方 ・ 終了後レポート提出
② 応募締切り	平成31年12月末頃 参加申込書・小論文記入用紙に記載の上担当まで郵送
③ 宿泊施設	農村体験宿泊施設「ふれあいの里さかもと」
④ 食事形態	宿泊施設で朝・昼・夕提供
⑤ その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

勝浦町は、徳島市から車で30分程度の「ほどほどな田舎」です。温暖な気候を活かして古くからみかんの栽培が盛んです。自然を満喫できて、四季折々の楽しいイベントもあり、人情味あふれる人々がたくさんいます。まずは訪れてみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 勝浦町役場	担当部署 産業交流課
(ふりがな) てらお ゆみ 担当者氏名 寺尾 由美	TEL : 0885-42-1505 (直通) FAX : 0885-42-3028
E-mail : y_terao@town.katsuura.i-tokushima.jp	
URL : http://www.http://www.town.katsuura.lg.jp	
応募宛先 〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田3番地 勝浦町役場産業交流課 交流事業担当宛	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-83 : 愛媛県^{せいよし}西予市 (人口: 37,983人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR予讃線 卯之町駅

(2) 事業実施の目的等

西予市での就業体験や生活体験、地域住民との交流等を通じて実際の市内での暮らしを体験し、移住を希望する方の人生をかけた移住を失敗ないものとする。

(3) 体験の内容

市内の事業所への就業体験ツアー

(4) 受入主体

西予市

(5) 受入期間

5月上旬～2月下旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：市負担 食事代：自己負担
①要件	・愛媛県南予地域（西予市、宇和島市、愛南町、八幡浜市、大洲市伊方町、内子町、鬼北町、松野町）以外に居住し、西予市への移住を検討されている方。 ・世帯構成員に満20歳から満60歳までの方がいること。
②応募締切り	上限9回まで実施し上限に達し次第募集を締め切ります。 (ツアー1回当たり1名の参加)
③宿泊施設	ゲストハウス、西予市移住交流体験施設等（体験事業所に応じて決定）
④食事形態	自炊
⑤その他	参加者が希望する市内の1事業所に4.5日間就業体験を行っていただきます。 移動用として市内滞在中はレンタカーを貸し出します（運転免許が必要）。

(7) 地域担当者から一言

本ツアーで就業体験した事業所に必ず就職しなければならないものではありませんのでお気軽にご参加ください。田舎暮らしのイメージと実態のギャップを解消するためにご活用ください。
注)平成31年度西予市予算が成立することを前提に記載しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 愛媛県西予市	担当部署 総務企画部まちづくり推進課地域振興係
(ふりがな) なかい けいすけ 担当者氏名 中井 圭介	TEL : 0894-62-6403 (直通) FAX : 0894-62-6574
E-mail : keisuke.nakai@city.seiyo.ehime.jp	
URL : https://www.city.seiyo.ehime.jp/ijyu/yattimiru/5664.html	
応募宛先 お問合せ先からご確認ください。	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-84 : 愛媛県砥部町^{とべちよう} (人口: 21,213人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・松山インターから役場まで車で約10分、役場から支所まで車で約25分
- ・松山市駅から役場最寄りバス停まではバスで約40分、役場まで徒歩約4分、支所まではのりあいタクシーに乗り換えて約25分
- ・民間バスにて松山市駅から砥部焼伝統産業会館前バス停まで約45分、のりあいタクシーに乗り換えて約20分

(2) 事業実施の目的等

国の伝統的工芸品「砥部焼」の後継者育成。
2020年度～2021年度開講予定の「陶芸塾（プロ陶芸家の養成講座）」の塾生募集。
地域の産業を実感してもらう。

(3) 体験の内容

- ・窯元見学、陶芸体験
- ・体験施設での作業
- ・陶芸家・農家との交流

(4) 受入主体

砥部町地域振興課

(5) 受入期間

通年（要事前相談）
5日間～（応相談）

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担（バス570円/片道、のりあいタクシー500円/片道） 宿泊費：無料 食事代：参加者負担 光熱水費：参加者負担
①要件	陶芸に関心のある人
②応募締切り	滞在開始希望の2週間前までに担当者に電話、メール、FAXでご連絡ください。
③宿泊施設	砥部町お試し移住体験施設（町営住宅、平屋2DK）
④食事形態	自炊、近隣に商店・飲食店あり
⑤その他	限定1組

(7) 地域担当者から一言

砥部焼の発展のため、あなたのパワーとアイデアを求む！！

(8) お問い合わせ先

自治体名 砥部町	担当部署 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) いわさ ちえ 担当者氏名 岩佐 千恵	TEL : 089-962-7288 (直通) FAX : 089-962-4277
E-mail : 025chiiki@town.tobe.ehime.jp	
URL :	
応募宛先 〒791-2195 愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ひろかわまち

No.-85 : 福岡県広川町 (人口: 19,676人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・JR久留米駅、西鉄久留米駅 堀川バス久留米線 吉常
- ・JR荒木駅 車(タクシー)

(2) 事業実施の目的等

『広川町お試し居住事業』
広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設 Orige (オリゲ) に一定期間滞在し、広川町での暮らしを体験してもらい、交流人口の増加や移住促進を図りたい。

(3) 体験の内容

伝統工芸や農業の見学、体験
地域イベントへの参加
町職員や定住支援員、地元住民との交流

(4) 受入主体

広川町 (Orige)

(5) 受入期間

随時 お試し居住 1回あたり 1~19泊
(年3回まで利用可能)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 宿泊費: お試し居住 (1~19泊) 1回あたり 500円 (年3回まで利用可) 食事代: 参加者負担 (自炊)
①要件	広川町への移住を検討していること
②応募締切り	利用希望日の10日前までに申請
③宿泊施設	Orige (広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設) 平成30年5月にオープンしたばかりの新しい施設です。→
④食事形態	Orige 共用キッチンにて自炊
⑤その他	滞在期間中、自身のブログ等で情報発信に協力していただくか、もしくは広川町の広報、HP、SNS等における情報発信に協力をお願いします。



(7) 地域担当者から一言

イチゴや花、お茶など農業が盛んで自然豊かな町ですが、町の中心にインターチェンジがあり、福岡都市部まで約40分で行くことができます。余暇を自然豊かな環境でゆっくりと過ごしたい方におすすめの町です。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福岡県広川町	担当部署 政策調整課 政策調整係
(ふりがな) やました りょういち 担当者氏名 山下 亮一	TEL: 0943-32-0106 (直通) FAX: 0943-32-5164
E-mail: seisaku@town.hirokawa.lg.jp	
URL: http://www.town.hirokawa.fukuoka.jp	
応募宛先 下記ページ内の入力フォームよりお申し込みください。 https://hirokawa-newedition.org/news/move/hirokawani/ QRコード→	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みなみしまばらし
No.- 8 6 : 長崎県南島原市 (人口 : 4 6, 2 0 3 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

①島原駅 : 車 3 0 分 ②島原港 : 車 2 5 分 ③口ノ津港 : 車 2 0 分

(2) 事業実施の目的等

就業体験を通して、地域の魅力を伝えるとともに、南島原市への移住定住促進を図る。

(3) 体験の内容

・地元企業（そうめん、ブライダル、製造、農業団体、接客など）へのインターンシップ

(4) 受入主体

南島原市内の事業所
 HP「南島原市田舎暮らし情報」掲載

(5) 受入期間

通年※詳しくはお問い合わせください。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 1/2 以内 (上限額 1 万円) 宿泊費 : 5 千円 / 1 泊 (上限額 3 万円) 食事代 : 原則、各自負担
① 要 件	大学、短大、大学院生で 5 日以上活動を実施する者
② 応募締切り	詳しくはお問い合わせください。
③ 宿泊施設	受入事業所にご確認ください。
④ 食事形態	受入事業所にご確認ください。
⑤ そ の 他	詳しくはお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

長崎県の南部に位置する南島原市。史跡「原城跡」は島原・天草一揆（島原の乱）が勃発した場所で、世界文化遺産に登録されています。みなさん、世界遺産のまちで就業体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長崎県南島原市	担当部署 企画振興部 企画振興課 地域づくり班
(ふりがな) あらき さとし 担当者氏名 荒木 智	TEL : 0957-73-6631 (直通) FAX : 0957-82-3086
E-mail : chiikidukuri@city.minamishimabara.lg.jp	
URL : http://www.city.minamishimabara.lg.jp	
応募宛先 〒859-2211 長崎県南島原市西有家町里坊 9 6 番地 2 南島原市役所企画振興部企画振興課地域づくり班	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-87 : 熊^う本^き県^し宇^と城^よ市^の (旧豊野町) (人口: 59,388人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR松橋駅 → 九州産交松橋営業所 → 九州産交バス「糸石」から徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

- ・復興の現場で地域住民と共に活動する経験を通して、人と人との繋がりを構築する。
- ・若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。
- ・事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

(3) 体験の内容

- ・復興支援の現場での活動
- ・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加
- ・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義

(4) 受入主体

地域づくり団体「うきのわ」

(5) 受入期間

時期によって異なりますのでご相談ください。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料（布団レンタル代金が必要となる場合があります） 食事代：自己負担
①要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人。
②応募締切り	随時 ※参加する日の2ヶ月前を目途にご相談ください
③宿泊施設	熊本県宇城市豊野町「光照寺」 ※寺泊です
④食事形態	自炊 ※伝統料理体験を行う場合もあります
⑤その他	詳しくは、宇城市HPをご覧ください。

(7) 地域担当者から一言

うきのわ（＝宇城の輪）は、東日本大震災後に移住してきた方々の支援のため、地元住民が中心となって発足した団体で、移住者と地元住民の交流の場をつくるなどの活動を続けています。熊本地震後は仮設住宅等での活動も行っています。熊本地震からの復興に向け、一緒に頑張ってください方をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 まちづくり観光課
(ふりがな) みやざき みき 担当者氏名 宮崎 美紀	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: machizukurikankoka@city.uki.kumamoto.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85 宇城市役所 企画部 まちづくり観光課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-88 : 熊本^{うきし}県^{おがわまち}宇城市(旧小川町)(人口:59,388人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小川駅(JR熊本駅から25分)から徒歩35分 ※タクシーで5分

(2) 事業実施の目的等

- ・若い世代や地域外の方のセンスや考え方を今後の地域づくりに生かす。
- ・体験終了後も進展状況等の相談・連絡を取られるような繋がりを作る。
- ・若い世代と一緒に、貴重な古民家である「塩屋」を次の世代へ繋げていく。

(3) 体験の内容

- ①古民家内の清掃・片付けなど(古民家ゆえに面倒な清掃や整理整頓)
 - ②地元の地域活性化グループとの交流
 - ③郷土料理・地元産品を使った加工品づくりの体験
- ※体験時の状況により変更となる可能性があります。

(4) 受入主体

風の会

(5) 受入期間

通年(3泊4日)
※一度に2~4人。4月~9月に1組、10月~3月に1組。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:自己負担 宿泊費:無料 食事代:自己負担
①要件	商店街の活性化、古民家の活用に興味がある人。
②応募締切り	随時 ※参加する日の2ヶ月前を目途にご相談ください
③宿泊施設	風の館・塩屋(明治39年に建てられた古民家)
④食事形態	自炊
⑤その他	詳しくは、宇城市HPをご覧ください。

(7) 地域担当者から一言

風の会は、地元で商店街を中心とした地域の活性化などに取り組む女性グループです。平成11年に改修した古民家・塩屋で、様々な活動を行っています。古民家の活用、地域づくりに興味がある方をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 まちづくり観光課
(ふりがな) みやざき みき 担当者氏名 宮崎 美紀	TEL:0964-32-1906(直通) FAX:0964-32-2222
E-mail:machizukurikankoka@city.uki.kumamoto.jp	
URL:http://www.city.uki.kumamoto.jp/	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 まちづくり観光課	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-89 : 大分県^{さいきし}佐伯市 (人口: 71,690人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 日豊線 (佐伯駅下車) → 大分バス (蒲江下車) → 蒲江交通 (屋形島経由深島 深島港下船)

(2) 事業実施の目的等

- ・都市部の若い人の目線の客観的意見を聞きたい
- ・島の生活を体験してほしい ・若い人との交流で刺激を得たい
- ・子どものいる家族が田舎で暮らしている生き方もあることを知ってほしい
- ・学生に、将来の選択の幅を広げてほしい

(3) 体験の内容

- ・深島食堂での島に来た方への接客
- ・島の暮らし全般 (島の清掃、食料調達、海であそぶなど)
- ・深島みそ仕込み ・マリンスポーツ (カヤック、シュノーケリング、ビーチコーミングなど)
- ・その他希望により対応可能 (研究、調査など)

(4) 受入主体

佐伯市蒲江 (深島地区)

(5) 受入期間

GW 期間・7月上旬～9月中旬
 ※希望によっては1年中対応可能

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：なし 食事代：基本的になし (おやつ・飲み物などは持参してください)
① 要件	島暮らしを体験してみたい方、人とのふれあいが好きまたはふれあいたい方、少しの虫なら大丈夫な方。
② 応募締切り	随時受付
③ 宿泊施設	でいーぷまりん宿泊施設「しんきや」もしくは深島地区施設もしくはホームステイ
④ 食事形態	3食提供
⑤ その他	作業ができる服装、靴 (夏季はサンダル)、必要なおやつや水 (売店や自動販売機などはなにもありません)

(7) 地域担当者から一言

人口18名の小さな島です。海がとってもきれいで、自然豊か、のびのびと自分らしさを見つけたり、自分と向き合ったり、リフレッシュできると思います。夏季はシュノーケリングもしているの、海が好きな方大歓迎！もちろん泳げなくても全然大丈夫です♪自然、田舎好きな方、もっと素直に生きたい方など、お待ちしております！！

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐伯市	担当部署 地域振興部 地域振興課 移住・定住推進係
(ふりがな) たかき てつや 担当者氏名 高木 哲也	TEL : 0972-22-3033 (直通) FAX : 0972-22-0025
E-mail : saiki-eiju@city.saiki.lg.jp	
URL : http://www.city.saiki.oita.jp/	
応募宛先 〒876-8585 大分県佐伯市中村南町1-1 地域振興課 移住・定住推進係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-90 : 大分県^{うさし}宇佐市 (人口: 57,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 中津駅(南口)から大分交通(中安線)安心院行・安心院(終点)で下車【65分】 - 乗り換え - 大分交通(明治線)福貴野行・深見小学校前下車【13分】

(2) 事業実施の目的等

地域交流ステーション 地域づくり学生インターンシップ事業
地域コミュニティ協議会(概ね小学校区単位)が抱える地域の課題や地域活性化策について、若い人の意見を聞き、取り入れたい。

(3) 体験の内容

- ①地域交流ステーション(廃校活用)での全体ミーティング
- ②地域の課題解決・活性化策を考え、提案
 - ・フィールドワーク(地域資源、地域行事等を見学・体験)
 - ・地域住民にヒアリング、地域住民とワークショップ(意見交換)、地域へ提案

(4) 受入主体

深見地区まちづくり協議会

(5) 受入期間

7月上旬～9月下旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代: 自己負担
①要件	大学生・大学院生・短大生で、田舎が好き、人とふれあいが好き
②応募締切り	平成31年6月30日(定員に満たない場合は、延長有)
③宿泊施設	地域交流ステーション 1泊1,080円(食事別途) 活動地域の家庭に宿泊する場合 無料
④食事形態	地域交流ステーション 自炊可能 活動地域の家庭に宿泊する場合 無料
⑤その他	3～4地域で募集があるので、それぞれ募集要項を熟読の上、ご応募ください。

(7) 地域担当者から一言

学生の受入れ経験のある地域が温かくお迎えしてくれます。おいしい空気・水・食べ物や田舎の人情や風習など非日常を満喫しながら、学生ならではの発想を地域に提案していただけることを期待しています。宇佐市は、別府・湯布院に隣接し、良質な温泉が多数有。また、受入期間中は、岳切渓谷や東椎屋の滝等の涼スポットやブドウ狩りなども楽しめます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇佐市	担当部署 経済部 観光まちづくり課 コミュニティ係
(ふりがな) からしま しほ 担当者氏名 辛島 志穂	TEL: 0978-27-8170 (直通) FAX: 0978-32-2324
E-mail: tiiki06@city.usa.oita.jp	
URL: http://www.city.usa.oita.jp 又は http://www.oct-net.ne.jp/fukami/	
応募宛先 〒872-0481 大分県宇佐市安心院町矢畑 442 番地の 2 深見地区まちづくり協議会 TEL: 0978-44-4544	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-9 1 : 鹿児島県^{そおし}曾於市 (人口: 35,798人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

大隅大川原駅: 車で4分 徒歩16分

(2) 事業実施の目的等

曾於市内外、特に都市部から農村地域への移住希望者や子育て世代の家族・グループに対して、本市の豊かな自然や観光地の紹介、また地域との交流を目的とした季節・地域のイベントを体験しつつ、学校跡地を活用した体験イベントや本市の基幹産業である農業体験、施設の特長を利用したプログラムを1日から数日の間体験することができ、「イベント+宿泊のアナログな思い出」を演出。曾於市にちょっと住んでいるような体験プログラムを提供することを目的とする。

(3) 体験の内容

ピザ&パン作り体験, 農業体験, 陶芸・竹細工体験等

(4) 受入主体

たからべ森の学校

(5) 受入期間

2019年度は未定。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	未定
②応募締切り	未定
③宿泊施設	たからべ森の学校
④食事形態	未定
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

懐かしい学校での宿泊, 採れたての新鮮な野菜を食べられたり, また疲れた体を癒してくれる五右衛門風呂体験, 星空観賞等, 非日常をここではたくさん体験できます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 曾於市役所	担当部署 企画課 定住係
(ふりがな) さとう 担当者氏名 佐藤	TEL: 0986-76-8802 (直通) FAX: 0986-76-1122
E-mail: kikaku@city.soo.lg.jp	
URL: http://www.city.soo.kagoshima.jp	
応募宛先 〒899-4102 鹿児島県曾於市財部町北俣 5410 番地 1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-92 : 鹿児島県東串良町 (人口: 6,679人)
ひがしくしらちょう

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

鹿児島空港 自動車で約1時間20分 JR 鹿児島中央駅 自動車で約1時間40分

(2) 事業実施の目的等

就農による移住に興味のある人と、本町農業従事者とのマッチング。

(3) 体験の内容

就農体験 (ハウスピーマンの栽培など)

(4) 受入主体

東串良町・東串良町後継者支援協議会
東串良町地域おこし協力隊

(5) 受入期間

6～8月を除く通年
(詳細はお問い合わせください。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：鹿児島空港及び鹿児島中央駅まで送迎します。 宿泊費：1泊2,000円(布団レンタル代として) 食事代：自己負担
①要件	鹿児島県への移住や就農などに興味、関心のある方
②応募締切り	問い合わせください。
③宿泊施設	東串良町のお試し居住用住宅
④食事形態	自己負担
⑤その他	滞在期間中の移動についてはレンタカー等の使用をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

東串良町は、大隅半島中央部に位置する鹿児島県本土で一番小さな町です。豊かな自然と商業地区が周辺にある「ちょうどいい町」の暮らしを体験してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 東串良町	担当部署 企画課・地域おこし協力隊
(ふりがな) てらぞのりゅうじ うえの かつし やまだともゆき 担当者氏名 寺園竜二・上野勝志・山田智之	TEL : 0994-63-3122 (直通) FAX : 0994-63-3138
E-mail : kikaku@higashikushira.com	
URL : http://www.higashikushira.com	
応募宛先 〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町川西 1543 番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-93 : 鹿児島県錦江町きんこうちょう (人口: 7, 530人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・鹿児島空港から車で約2時間10分、高速道路利用の場合、約1時間45分(溝部鹿児島空港IC～鹿屋串良JCT)
- ・鹿児島中央駅から車で約1時間半(鹿児島中央駅～鴨池→垂水フェリーで約35分、垂水港から車で約55分)

(2) 事業実施の目的等

- ・錦江町のならではの「食」や「文化」、「地域性」を体験し、関係人口昇華を図る。

(3) 体験の内容

- ・錦江町せっがい(鬼火焚き)ツアー(2月上旬)
- ・ふるさと納税トレーサビリティツアー(7月～9月)
- ・農業体験などの移住体験ツアー(※随時募集中)
- ・お試しサテライトオフィス体験(※随時募集中)

(4) 受入主体

錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会

(5) 受入期間

上記のとおり

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 ※一部補助有り 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	特になし
②応募締切り	未定
③宿泊施設	町施設、民宿等
④食事形態	未定
⑤その他	詳細は、錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会のフェイスブックページ(下記参照)にて、その都度掲載いたします。

(7) 地域担当者から一言

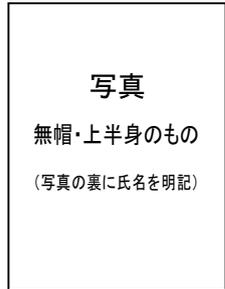
地域住民との交流を通して、錦江町の魅力を体験してみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名 鹿児島県錦江町	担当部署 錦江町役場未来づくり課
(ふりがな) かわじ みわ 担当者氏名 川路 美和	TEL: 0994-25-1001 (直通) FAX: 0994-25-1002
E-mail: m_kawaji@kinko-mirai.com	
URL: http://www.facebook.com/KinkoMirai/	
応募宛先 〒893-2301 鹿児島県肝属郡錦江町神川 3306-4 錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会	

西暦 年 月 日 現在

募集地域参加申込書



1. お名前：^{ふりがな} _____ (男・女)
2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地： _____)
* 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)
学校、学部名： _____ () 年
- * 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等： _____

* 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所
〒 _____

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。
(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： _____ Eメール(PC)： _____

電話(携帯)： _____ Eメール(携帯)： _____

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用しません。

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： _____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

*各テーマ400字程度でまとめてください。
*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

連絡先

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞が関2-1-2

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

